

**OKURA**

# 2025年12月期第2四半期(中間期) 決算説明資料

2025年8月18日

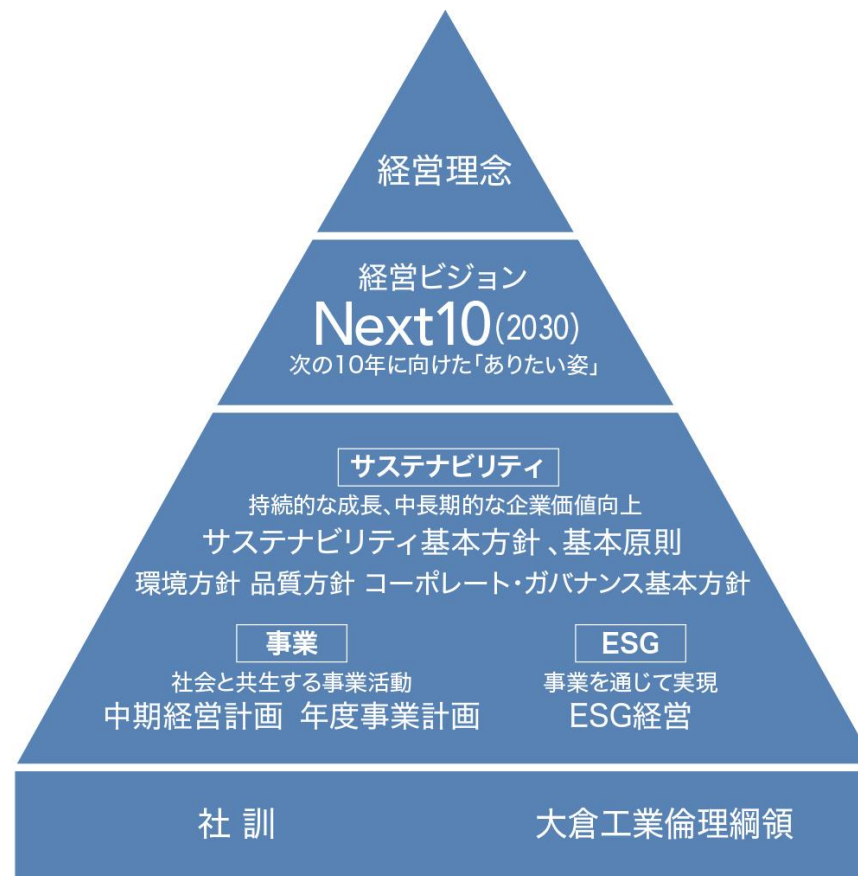


**大倉工業株式会社**

証券コード:4221

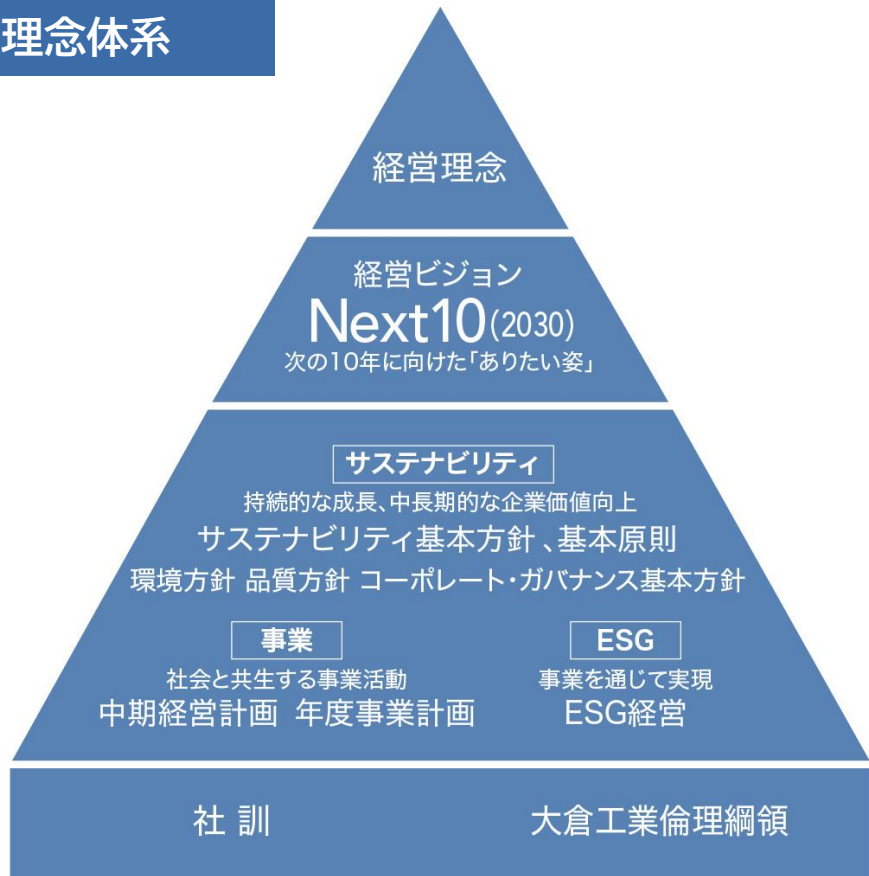
## C O N T E N T S

1. 第2四半期(中間期)決算概要
2. 2025年12月期業績予想
3. 中期経営計画(2027)の進捗
4. 参考資料



# 大倉工業グループが目指す姿

## 理念体系



## サステナビリティ基本方針

「社会から信頼される企業」であり続けるために、  
事業を通じて、  
社会との共生を念頭に企業の成長を目指す

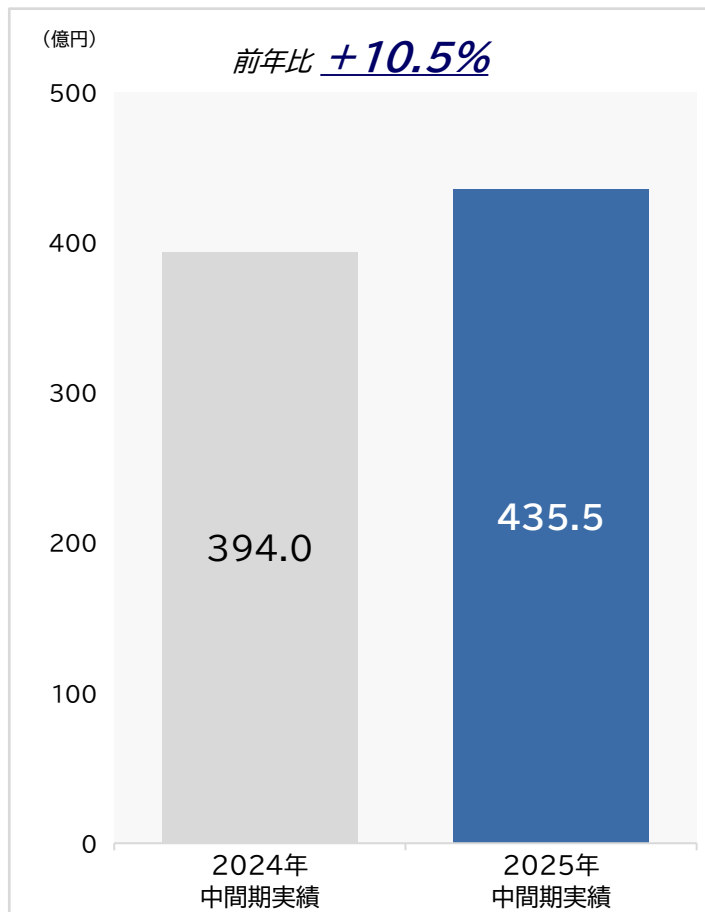
## サステナビリティ基本原則

1. 事業とESGの両立
2. 地球環境の保全
3. 法令順守・人権尊重と労働環境の配慮
4. 情報開示と対話

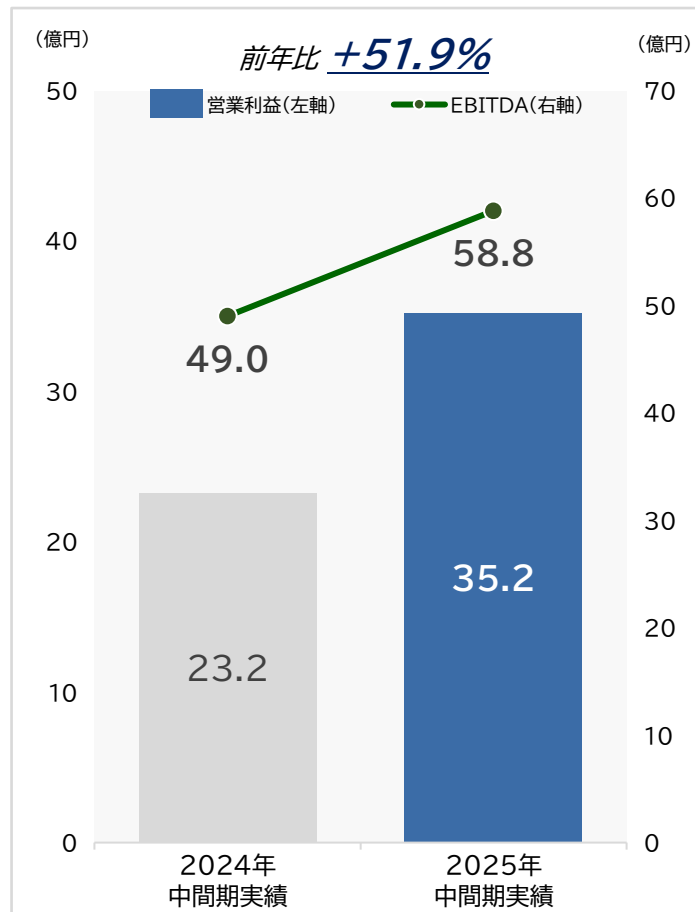
# 1. 第2四半期(中間期)決算概要

# 連結売上高、営業利益、経常利益、中間純利益、設備投資等

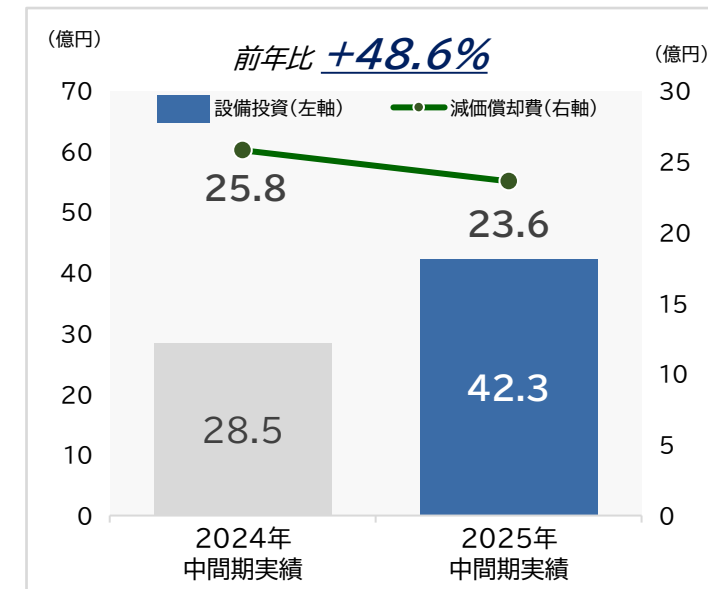
【連結売上高】



【連結営業利益】



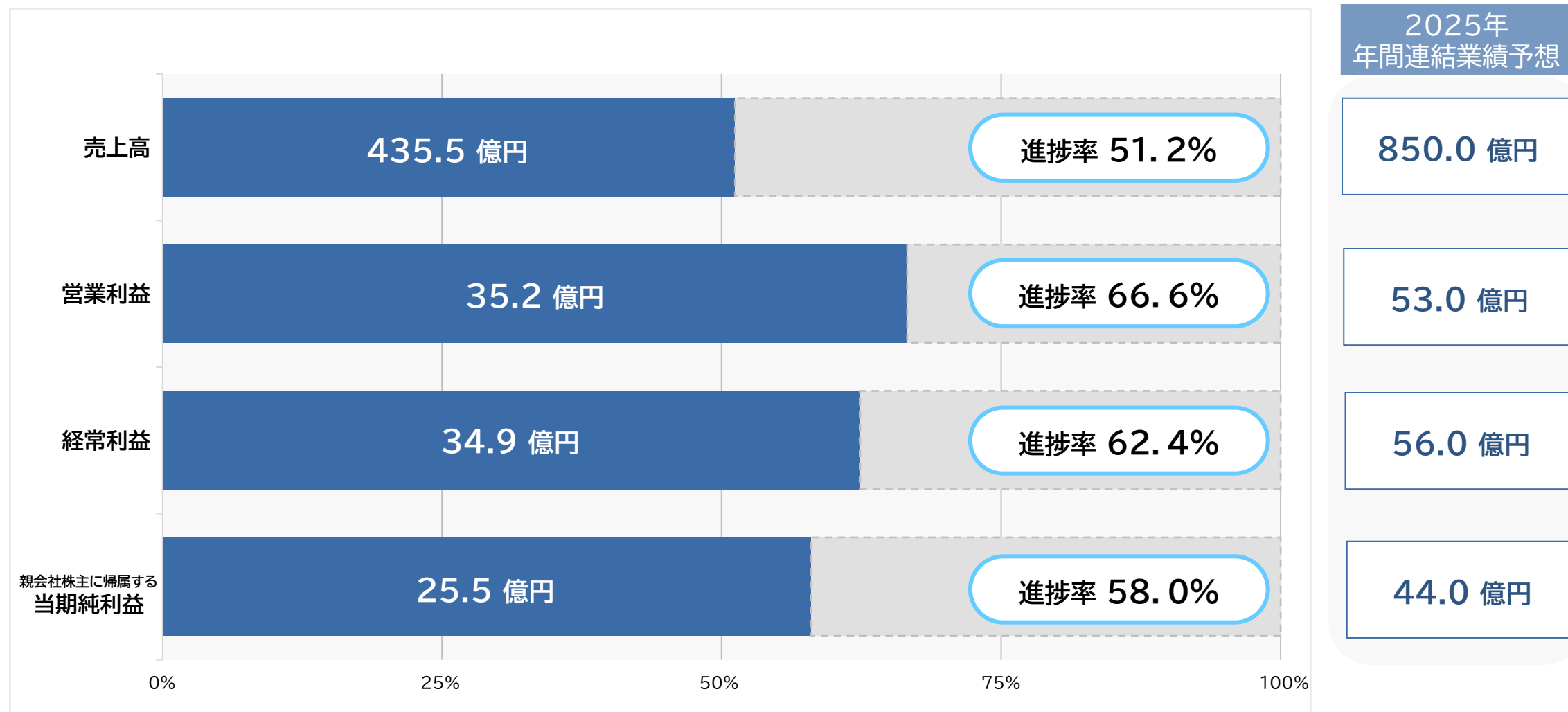
【連結設備投資】



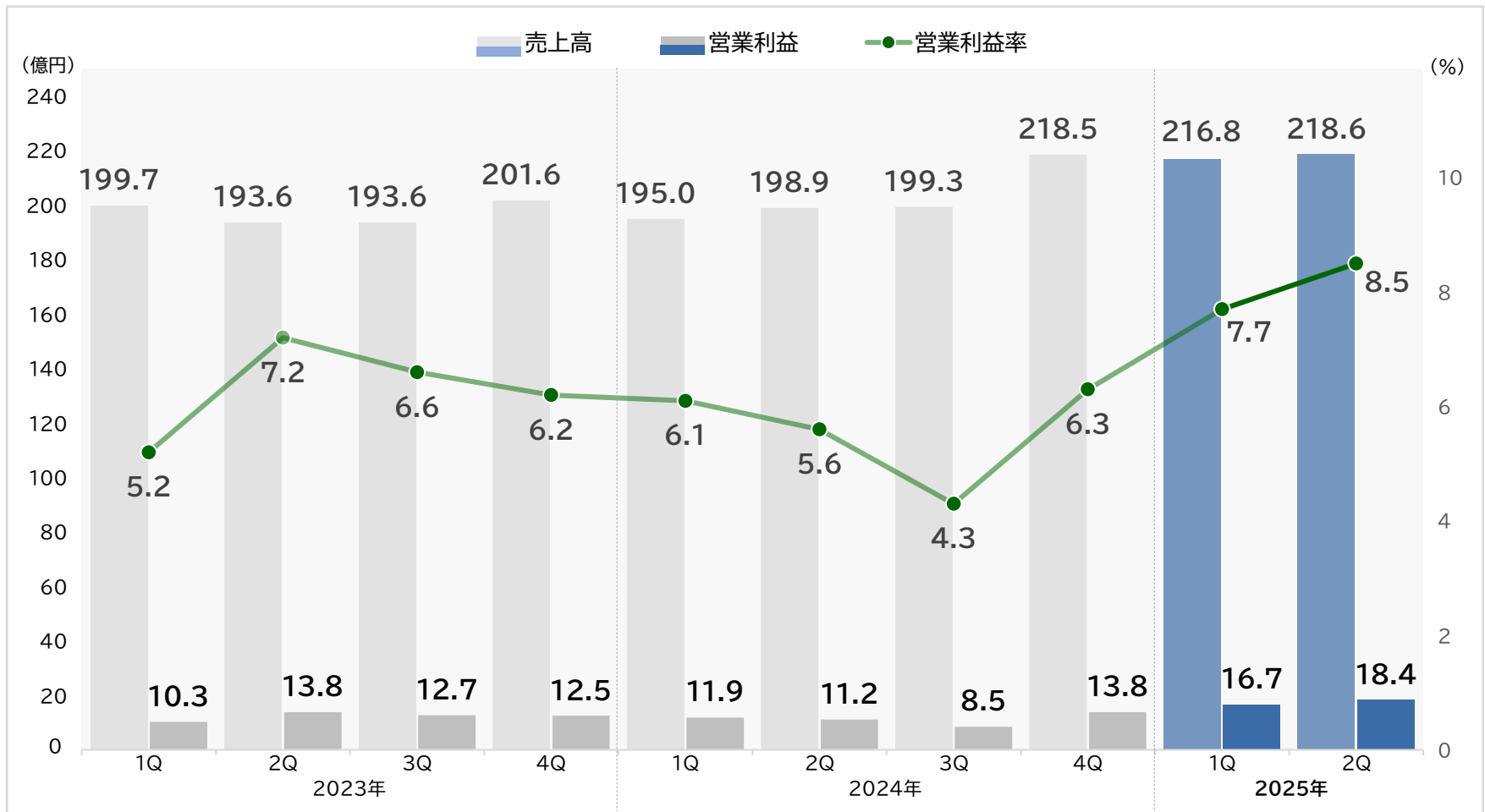
	2024年 中間期実績	2025年 中間期実績	前年比
経常利益	27.0	34.9	+29.2%
親会社株主に帰属する 中間純利益	24.1	25.5	+5.5%

(億円)

## 対年間連結業績予想進捗率



# 四半期別連結売上高、営業利益、営業利益率推移



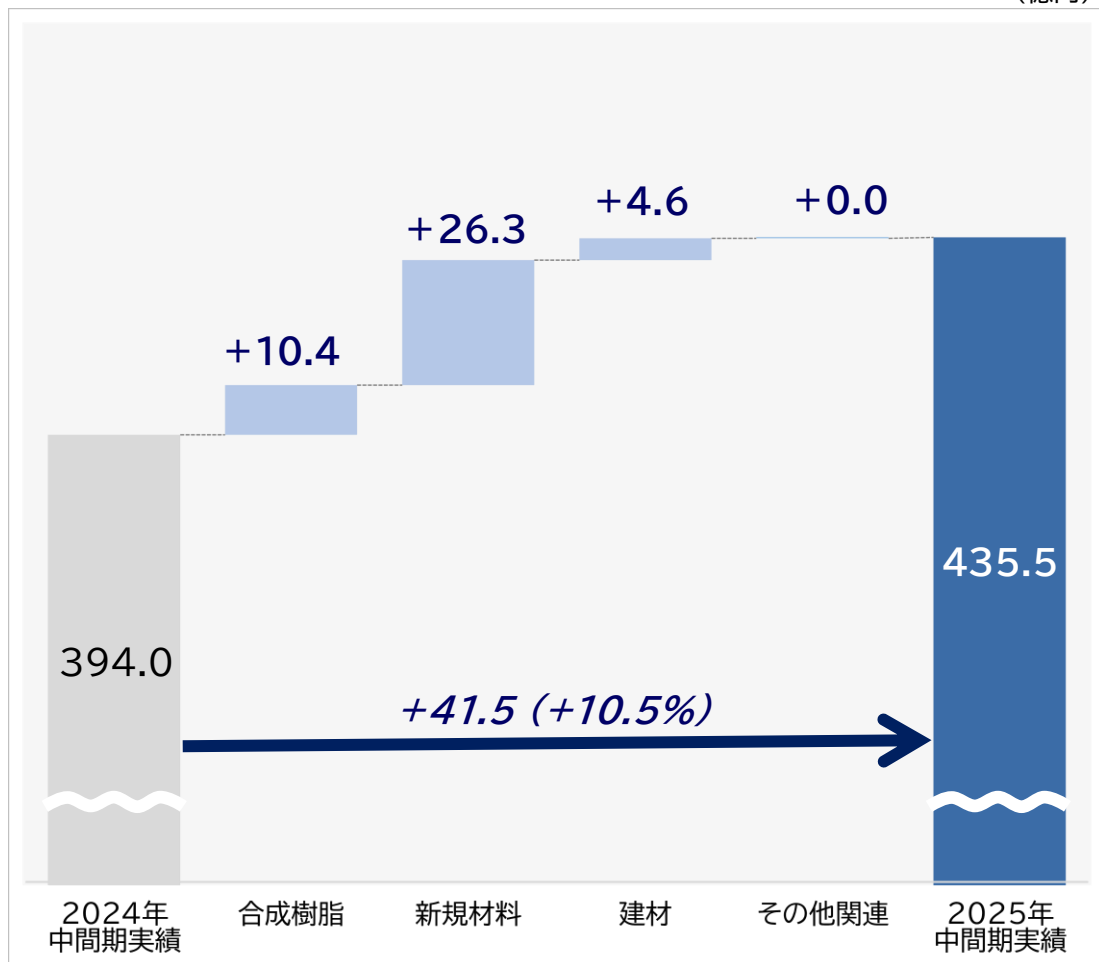
## 2025年中間期 サマリー

- ① 合成樹脂事業
  - 需要逓減により、包装用フィルムの販売数量は減少
  - 環境貢献製品、工業用プロセスフィルムの販売が堅調
  - 価格改定やコスト削減が寄与し、増益
- ② 新規材料事業
  - 大型液晶テレビ用ハイエンドディスプレイ向け光学フィルムの受注が増加
  - 新工場(G2ライン)の稼働が安定し増益
- ③ 建材事業
  - パーティクルボードの販売が堅調
  - 原材料価格の上昇等のコスト増加により減益

# 事業別売上高、営業利益増減

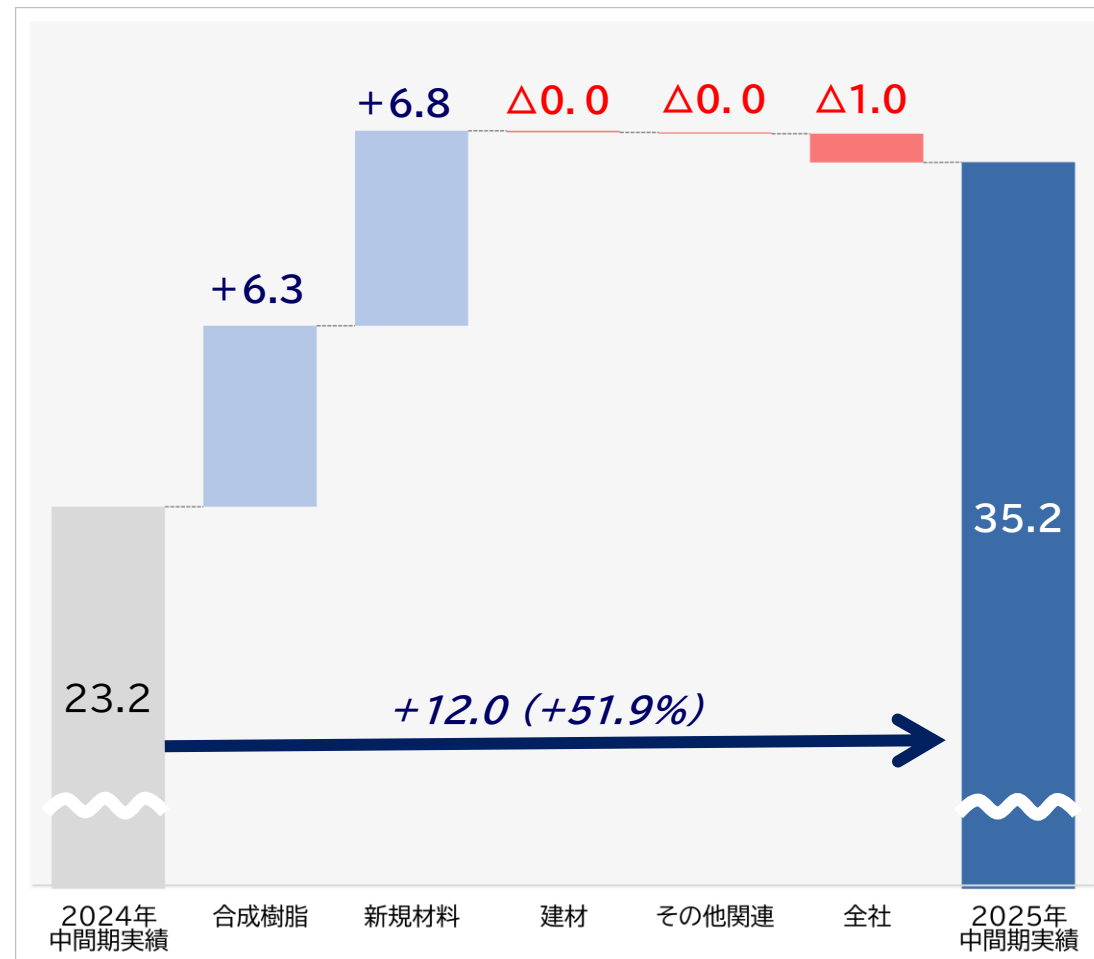
【連結売上高】

(億円)



【連結営業利益】

(億円)

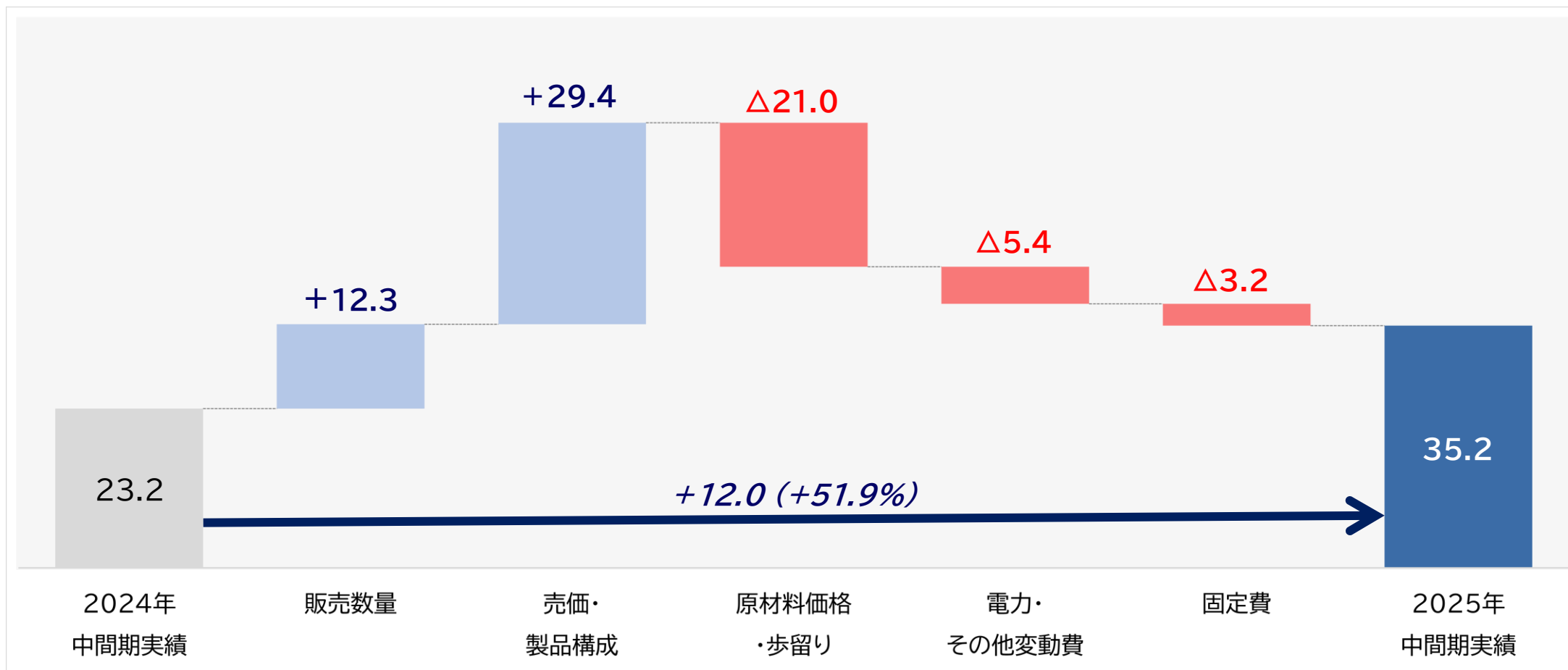




# 連結営業利益増減

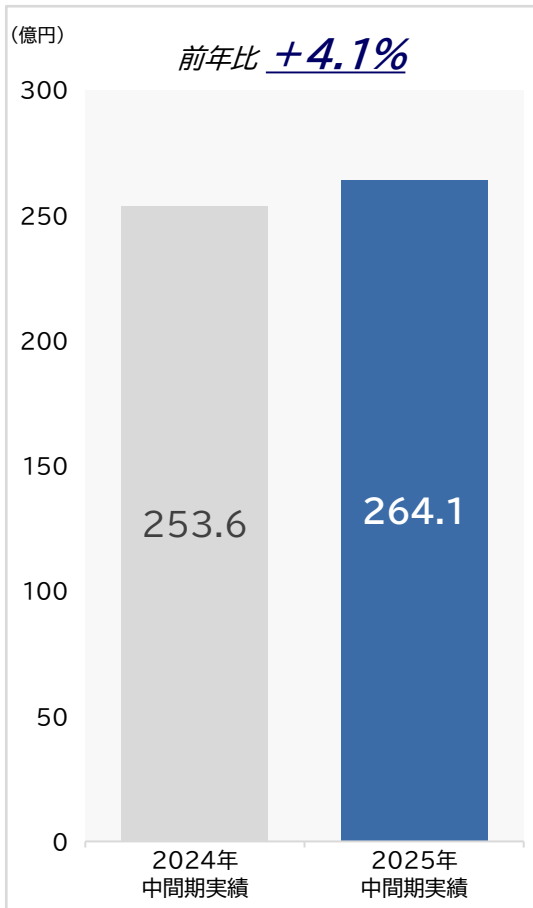
【連結営業利益】

(億円)

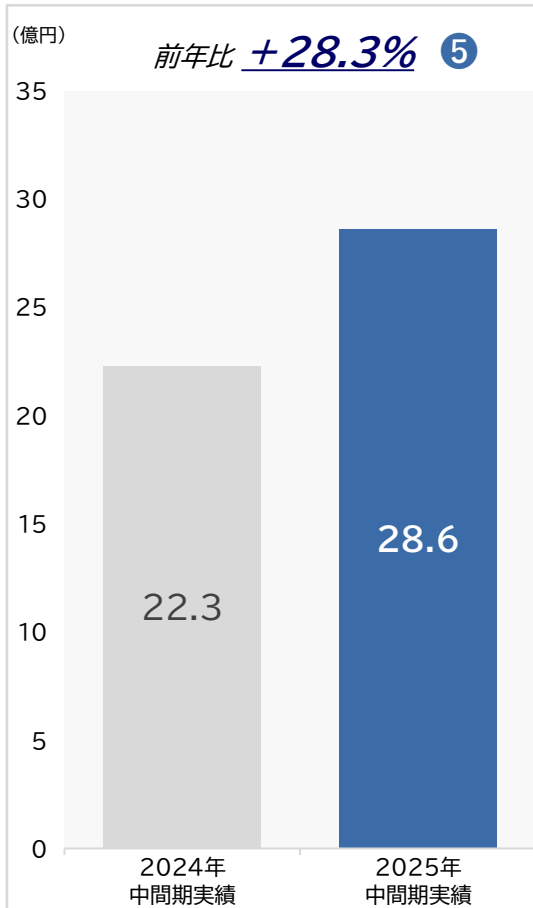


# 合成樹脂事業

【売上高】



【営業利益】



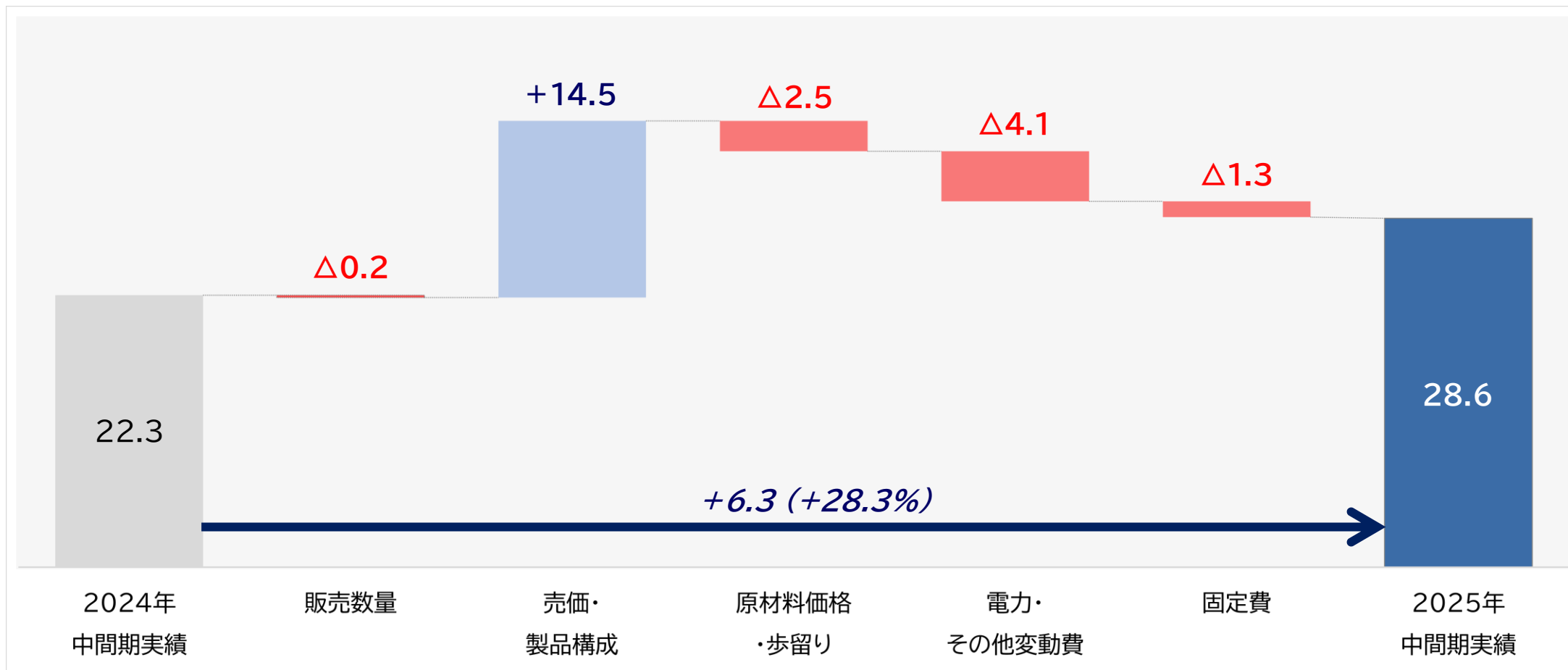
【BU別売上高】	2025年中間期実績 (百万円)	前年比
ライフ & パッケージBU	9,345	① +6.0%
シュリンクフィルム	5,061	+6.8%
軟包材	3,249	+6.1%
リキッドパック	1,034	+2.3%
プロセスマテリアルBU	3,357	② +7.1%
ベーシックマテリアルBU	10,013	③ +1.5%
アグリマテリアルBU	3,108	④ +5.5%
その他	587	△3.0%
合計	26,413	+4.1%

- ① 物価高騰による消費者の節約志向に伴う需要減があるものの、詰替え用パウチやカップ麺などは好調
- ② 光学用の工業用プロセスフィルムの販売が好調に推移
- ③ 衛生材料関係など既存製品の需要減少を価格転嫁で補い、前年同水準を維持
- ④ 生産者の当用買いに起因する販売店における在庫調整が解消し、販売数量は回復傾向
- ⑤ 前年から取り組んだ価格転嫁や生産性の向上などによるコスト削減により増益

# 合成樹脂事業

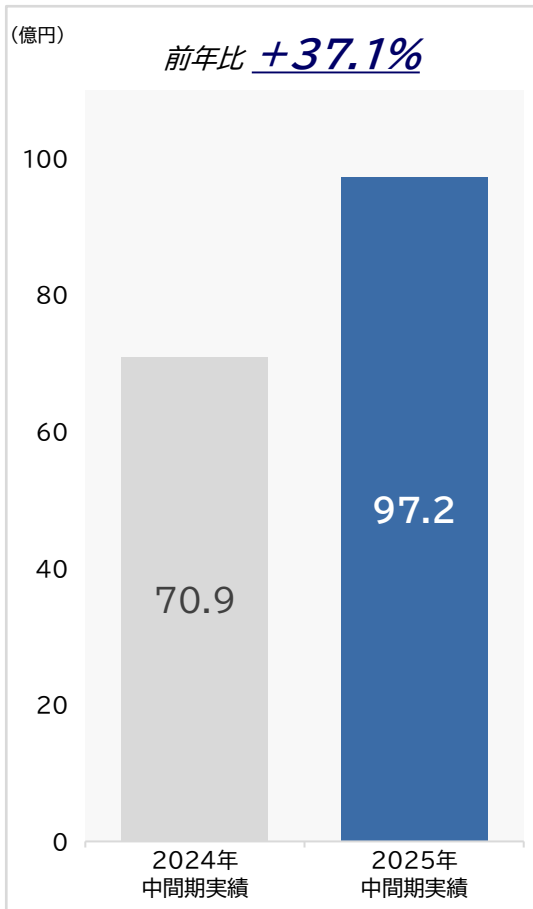
## 【営業利益】

(億円)

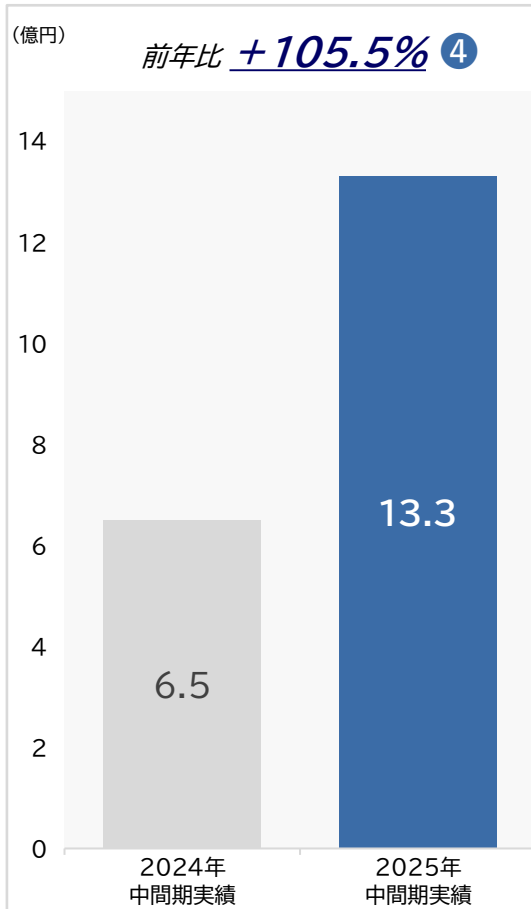


# 新規材料事業

【売上高】



【営業利益】

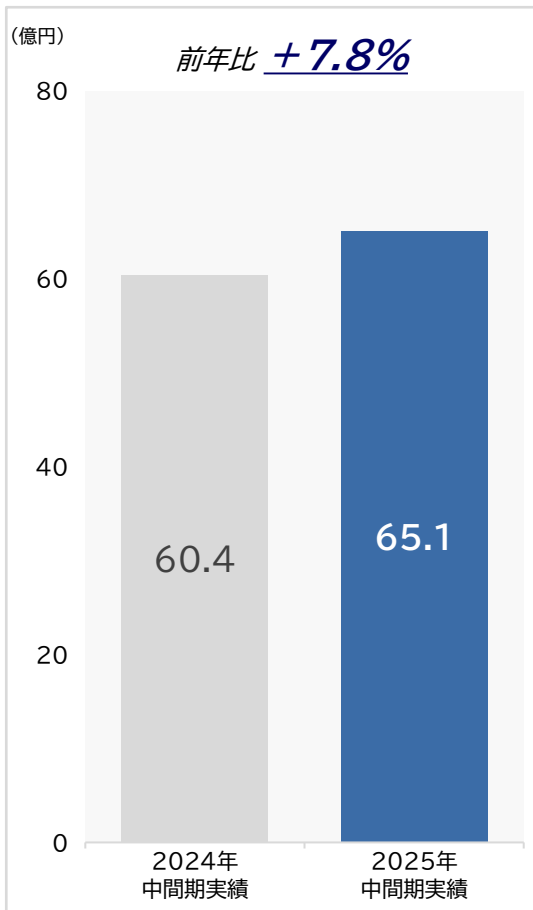


【BU別売上高】	2025年中間期実績 (百万円)	前年比
機能材料BU	1,615	① +0.6%
電子材料BU	1,282	② △3.1%
光学材料BU	6,777	③ +64.7%
商品他	51	△3.2%
合計	9,726	+37.1%

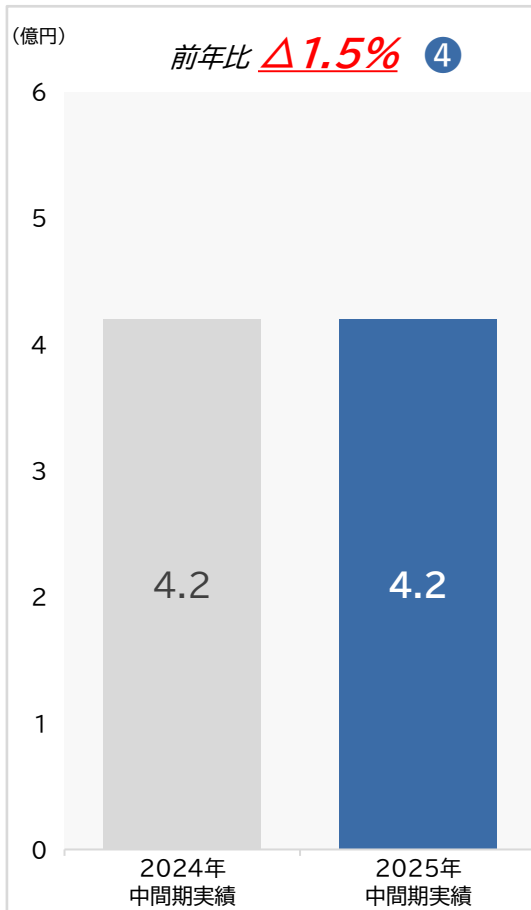
- ① 自動車用途の機能材料フィルムは低調だったものの、OA機器向けの機能材料フィルムの販売数量が増加
- ② プロジェクター向け偏光板加工の需要が低調
- ③ 大型液晶パネル向け光学フィルムは、アクリルフィルム、COPフィルムともに需要が増加
- ④ 昨年稼働を開始したG2ラインの安定稼働により増益

# 建材事業

【売上高】



【営業利益】

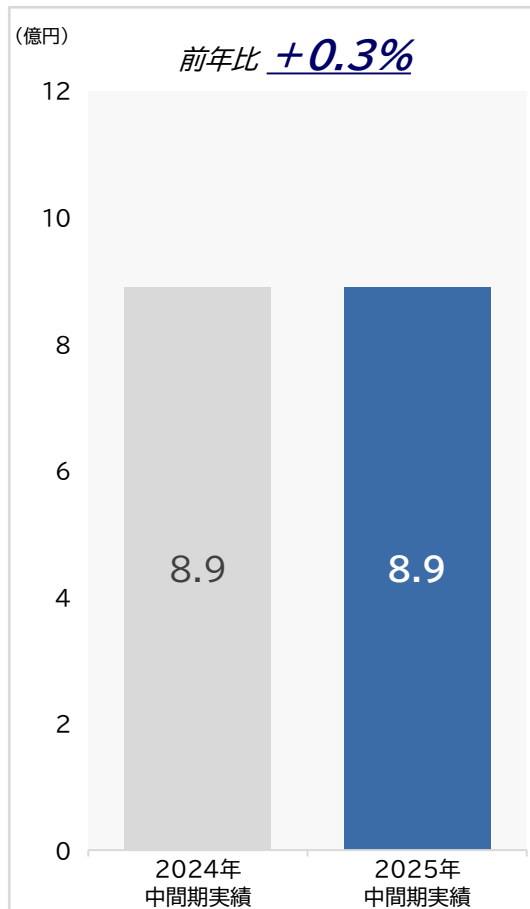


【製品別売上高】	2025年中間期実績 (百万円)	前年比
パーティクルボード製品	4,192	① +6.5%
環境資材製品	276	Δ22.9%
住宅部材製品	112	+43.9%
ハウス事業	630	② Δ0.5%
プレカット事業	1,532	③ +29.6%
消去・組替	△226	-
合計	6,517	+7.8%

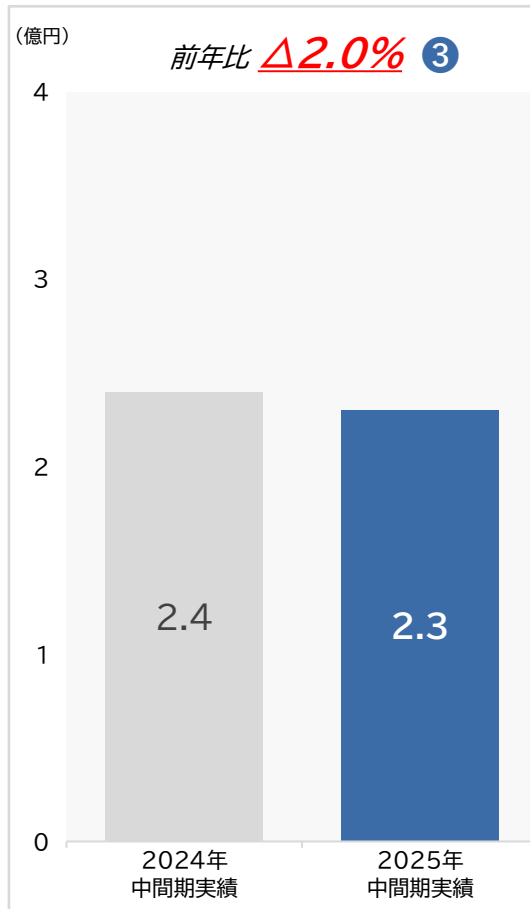
- ① 安定生産と拡販努力、製品構成による販売単価の上昇により堅調に推移
- ② 新設住宅着工戸数の減少など市況は良くないものの、低価格な住宅とリフォーム関連は好調
- ③ 昨年が工場移転の影響で減少していたことと、非住宅物件が好調
- ④ 売上高は増加したものの、原材料費などのコスト上昇により減益

## その他関連事業

【売上高】



【営業利益】



【事業別売上高】	2025年中間期実績 (百万円)	前年比
ホ テ ル 事 業	448	① +1.8%
情 報 処 理 事 業	782	② +1.7%
賃 貸 事 業	295	+5.9%
消 去 ・ 組 替	△632	-
合 計	894	+0.3%

① インバウンドを中心に宿泊が増加

② 調剤薬局向けシステムの販売は減少するも、グループ内向けの販売が増加

③ 調剤薬局向けシステムの更新に伴う開発費用の増加により、減益

## 連結損益計算書

(億円)

	2024年 中間期実績	2025年 中間期実績	増減額	主な内訳
売上高	394.0	435.5	+41.5	
営業利益	23.2	35.2	+12.0	
営業外収益	4.3	2.4	△1.8	
営業外費用	0.5	2.7	+2.2	
経常利益	27.0	34.9	+7.8	
特別利益	8.7	0.0	△8.7	【前期】固定資産売却益:8.7
特別損失	2.2	0.4	△1.8	【前期】工場移転関連費用:1.3
税金等調整前 中間純利益	33.5	34.4	+0.9	
法人税等	9.3	8.9	△0.3	
親会社株主に帰属する 中間純利益	24.1	25.5	+1.3	

## 連結貸借対照表

(億円)

		2024年 期末実績	2025年 中間期末実績	増減額	主な増減
資産の部	流動資産	555.4	540.9	△14.5	【固定】有形固定資産:+15.0 【流動】棚卸資産:+11.9
	固定資産	474.6	480.6	+5.9	【流動】売上債権:△25.7 【固定】投資有価証券:△11.3
	資産合計	1,030.1	1,021.5	△8.5	
負債の部	流動負債	348.5	350.5	+1.9	【流動】仕入債務:+8.9 【流動】設備関係電子記録債務:+6.0
	固定負債	60.8	57.9	△2.9	【流動】未払法人税:△8.6 【流動】未払金:△5.3 【流動・固定】借入金:△2.1
	負債合計	409.3	408.4	△0.9	
純資産の部	純資産合計	620.7	613.1	△7.6	利益剰余金:+13.3 自己株式:△12.1 その他有価証券評価差額金:△8.4
自己資本比率		60.2%	60.0%	△0.2P	
借入金残高		61.2	59.0	△2.1	



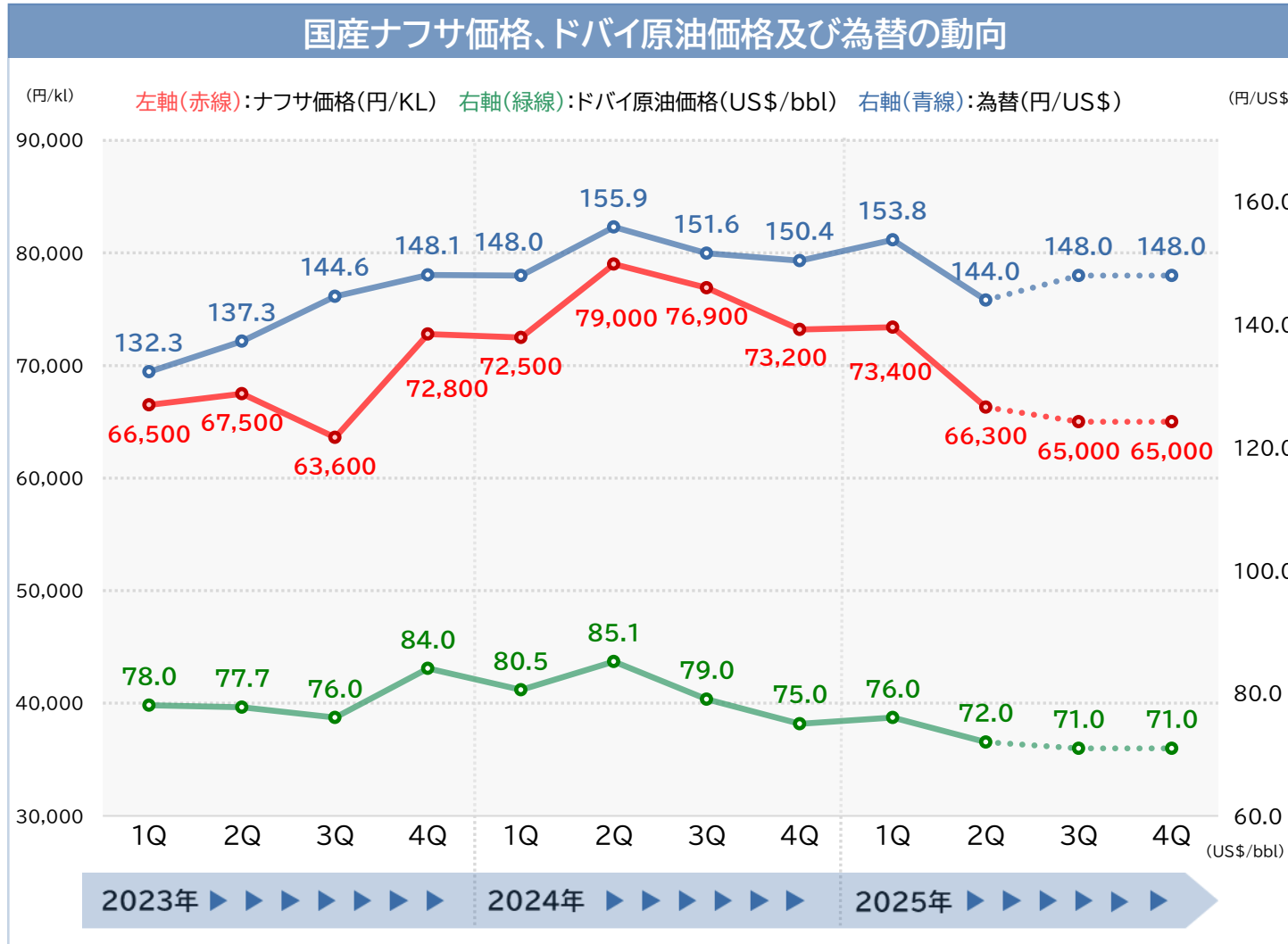
## 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2024年 期末実績	2024年 中間期実績	2025年 中間期実績	2025年中間期の主な増減要因 (2024年期末対比)
現金及び現金同等物 期首残高	78.0	78.0	89.4	
営業活動による キャッシュ・フロー	58.3	32.7	77.2	税金等調整前中間純利益による資金増:+34.4 売上債権の減少による資金増:+25.6 減価償却費による資金増:+23.6 法人税等の支払いによる資金減:△14.2
投資活動による キャッシュ・フロー	△57.0	△58.8	△41.2	建材事業における工場及び製造装置等の有形固定資産の 取得による資金減
財務活動による キャッシュ・フロー	9.4	39.2	△26.6	自己株式の取得による資金減:△12.2 配当金の支払による資金減:△12.1
現金及び現金同等物 期末残高	89.4	91.9	98.6	

## 2. 2025年12月期業績予想

# 外部環境予想と市場動向



### 市場動向

- #### ① 大型ディスプレイ市場

  - 大画面化の傾向継続、面積需給は、前年比約5%伸長
  - 偏光板需要は、前年比約4%増
- #### ② 自動車市場

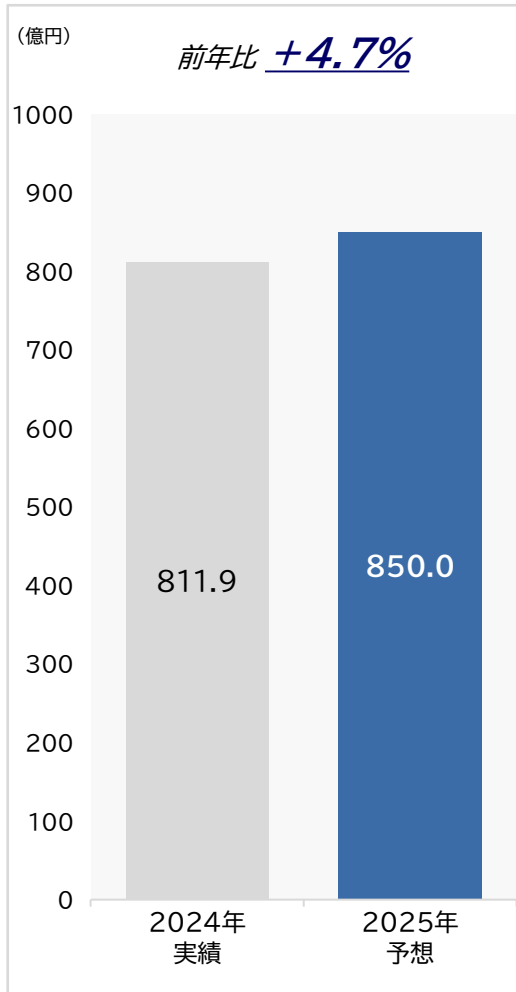
  - 自動車生産台数は、米国の関税影響があり先行き不透明
- #### ③ 個人消費

  - 一部持ち直しの動きが見られるものの、依然として消費者の節約志向が継続
  - インバウンド需要は堅調に推移
- #### ④ 住宅市場

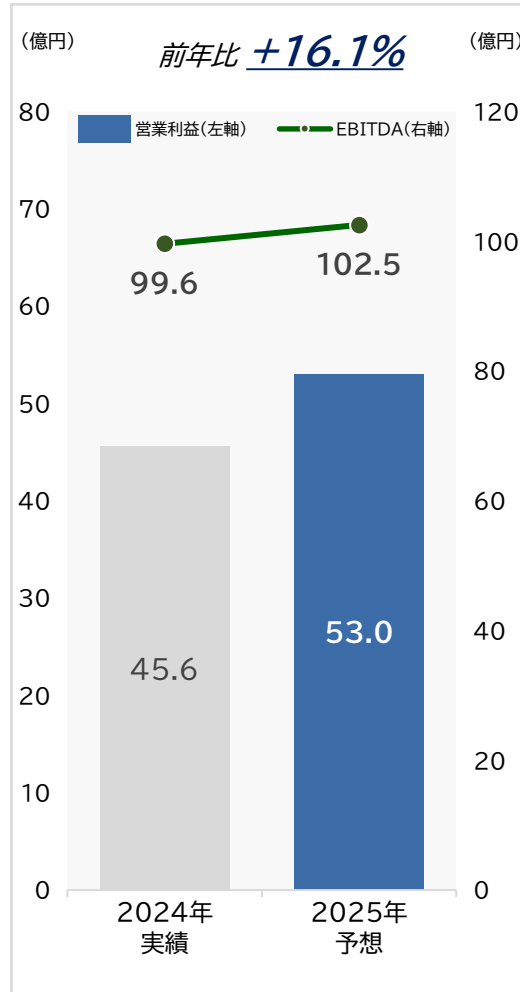
  - 建設コストの上昇による需要抑制もあり、新設住宅着工戸数は前年を下回る約73万棟の見通し
  - リフォームや非住宅分野は一定程度の規模を維持

# 連結売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、設備投資

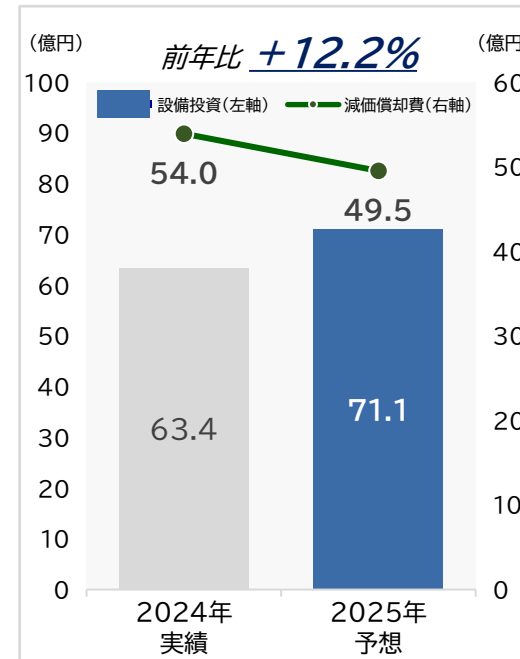
【連結売上高】



【連結営業利益】



【連結設備投資】



## 主な設備投資案件

- ① 建材事業**
  - 四国地域材を活用した木質構造材料事業: 18.5億円
- ② R&Dセンター**
  - ライフ&ヘルスケア関連事業: 9.2億円
- ③ 合成樹脂事業**
  - DX投資(基幹システム再構築): 3.2億円

	2024年実績	2025年予想	前年比
経常利益	51.1	56.0	+9.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	43.5	44.0	+0.9%
1株当たり配当金	160円	195円	+35円

# 事業別売上高、営業利益、EBITDA、設備投資

【売上高】

(億円)

	2024年 実績	2025年 予想	前年比	2025年 中間期実績	対年間予想 進捗率
合成樹脂事業	518.6	540.0	+4.1%	264.1	48.9%
新規材料事業	146.1	160.0	+9.5%	97.2	60.8%
建材事業	128.5	130.0	+1.1%	65.1	50.1%
その他関連事業	18.6	20.0	+7.5%	8.9	44.7%
合計	811.9	850.0	+4.7%	435.5	51.2%

【EBITDA】

(億円)

	2024年 実績	2025年 予想	前年比	2025年 中間期実績	対年間予想 進捗率
合成樹脂事業	70.4	68.3	△3.0%	39.4	57.7%
新規材料事業	29.5	33.3	+12.7%	21.2	63.7%
建材事業	13.6	14.8	+8.8%	5.9	39.8%
その他関連事業	7.7	7.3	△4.8%	3.7	51.7%
全社費用	△21.7	△21.3	—	△11.4	—
合計	99.6	102.5	+2.9%	58.8	57.4%

【営業利益】

(億円)

	2024年 実績	2025年 予想	前年比	2025年 中間期実績	対年間予想 進捗率
合成樹脂事業	44.5	47.0	+5.5%	28.6	61.0%
新規材料事業	12.4	17.0	+36.2%	13.3	78.8%
建材事業	9.4	10.0	+5.7%	4.2	42.2%
その他関連事業	4.9	5.1	+3.0%	2.3	46.4%
全社費用	△25.7	△26.1	—	△13.3	—
合計	45.6	53.0	+16.1%	35.2	66.6%

【設備投資】

(億円)

	2024年 実績	2025年 予想	前年比	2025年 中間期実績	対年間予想 進捗率
合成樹脂事業	29.3	21.3	△27.3%	6.9	32.8%
新規材料事業	9.6	9.2	△3.7%	3.7	40.4%
建材事業	8.7	23.3	+168.2%	21.4	91.7%
その他関連事業	7.9	5.3	△32.0%	4.2	78.7%
全社費用	7.8	11.7	+50.9%	5.9	50.8%
合計	63.4	71.1	+12.2%	42.3	59.5%

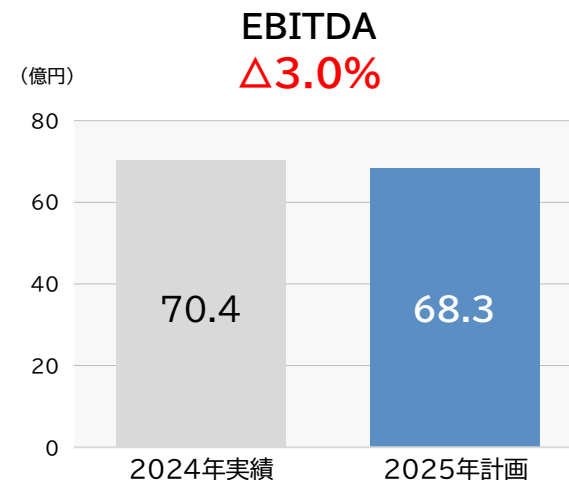
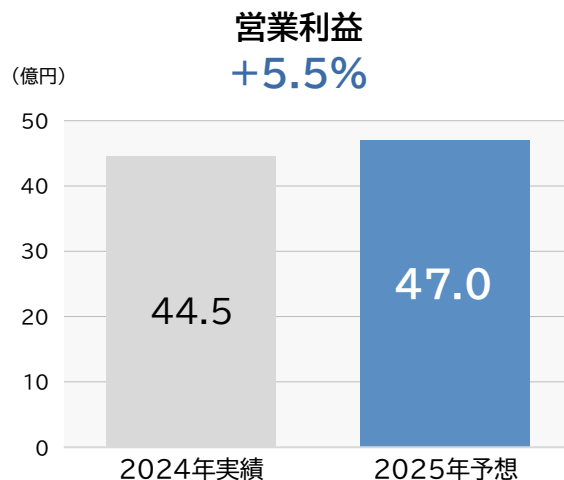
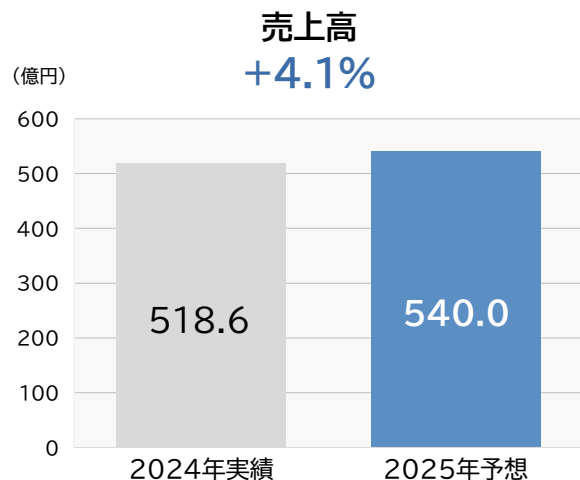
# 重点取組みの進捗と下期の業績見通し 合成樹脂事業

重点取組みの進捗

- ライフ&パッケージBU:伸長する市場に向けた詰替え用パウチの更なる拡販と機能性パウチの新規取組み  
⇒ 詰替え用パウチは新アイテムを定期的に受注できたことにより堅調に推移
- プロセスマテリアルBU:光学用プロテクトフィルムの拡販  
⇒ 光学用プロテクトフィルムは計画通り堅調に推移

下期の業績見通し

- 環境貢献製品や光学用プロテクトフィルムは拡大するものの、消費者の節約志向が継続し、日用品や食品等の販売数量の回復は期待できない
- 価格転嫁や生産性の向上などによるコスト削減が寄与し収益性は上昇しているものの、自動車市場の混乱や世界経済の不確実性に伴う原材料価格の上昇リスクを織り込む



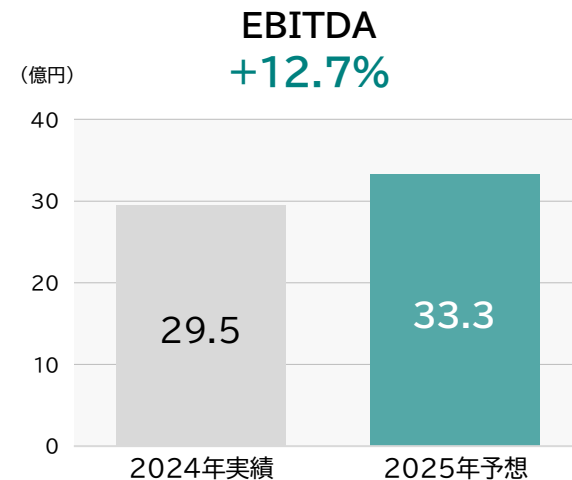
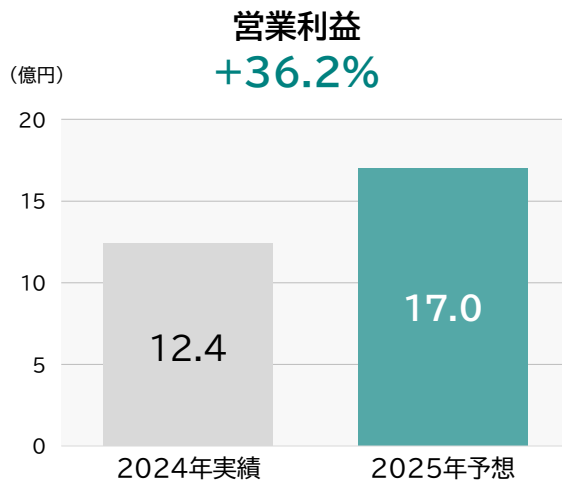
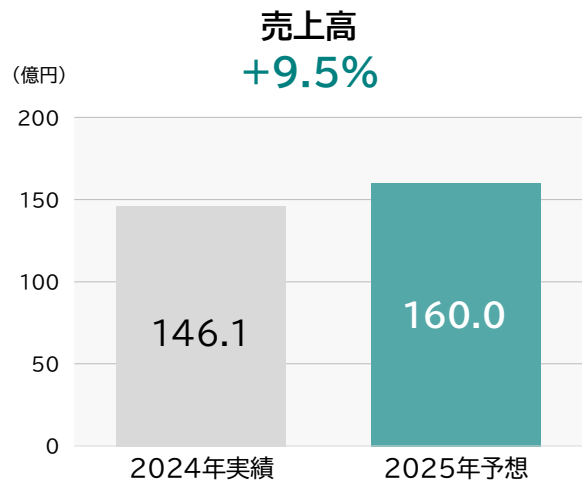
# 重点取組みの進捗と下期の業績見通し 新規材料事業

重点取組みの進捗

- 光学材料BU: G2ラインの安定稼働と顧客からの品質信頼性確立  
⇒ G2ラインは各種問題がクリアとなり安定稼働

下期の業績見通し

- 光学フィルム市場において中長期的な需要は引き続き堅調なもの、足元では在庫調整の動きが見られること、試作や製品グレード切り替えによる生産性の悪化を想定



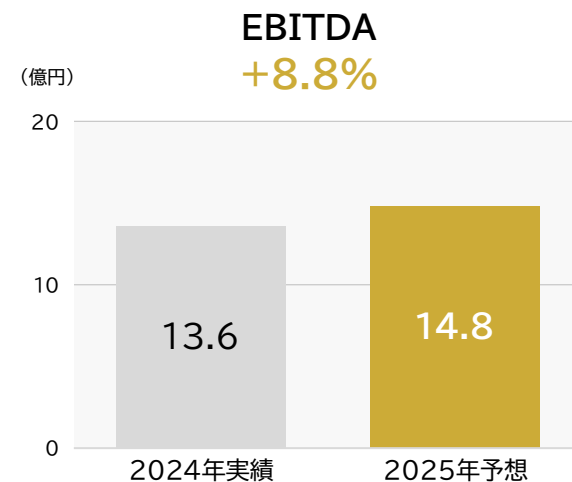
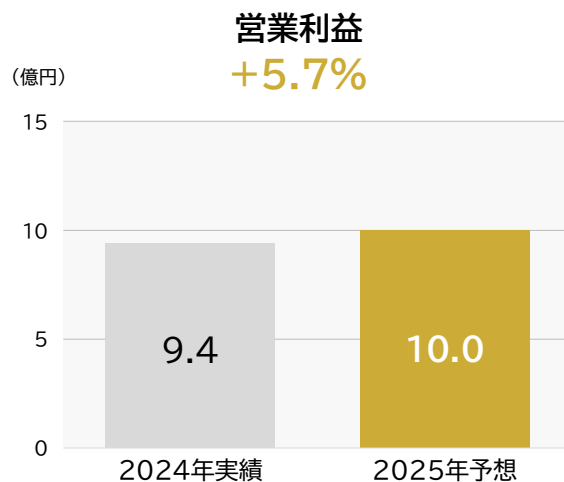
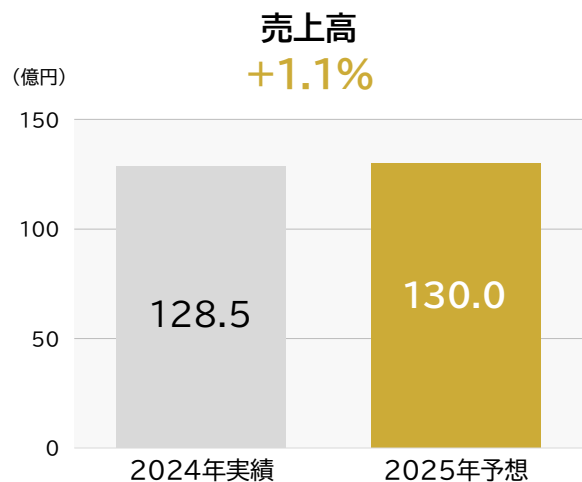
# 重点取組みの進捗と下期の業績見通し 建材事業

重点取組みの進捗

- 木質パネルBU: パーティクルボード事業の継続的改善及びダイニングキッチン、洗面用途を中心とした加工ボードの拡販  
⇒加工ボードは市況は悪化しているものの、安定生産により受注を獲得し、堅調に推移
- 木構造BU: 木質構造材料事業の確実な立上げへの準備を遂行。木造住宅の高性能化に対応する工務店支援機能を拡充  
⇒木質構造材料事業は2026年からの事業開始に向け計画通り進捗

下期の業績見通し

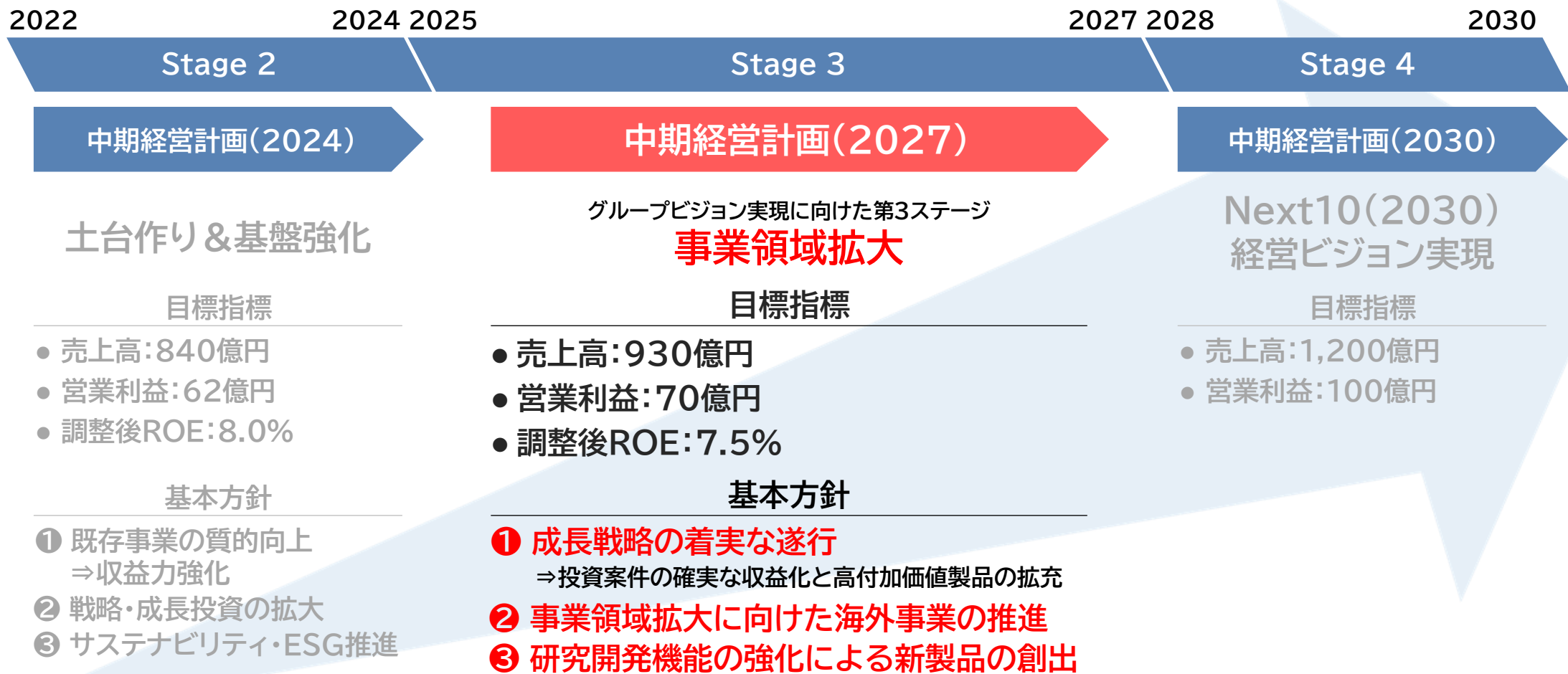
- 住宅物件の需要は低迷しているものの、注力分野である非住宅向けの拡販を進める
- 原材料や変動費等のコストが上昇する中、不採算製品の見直しを行い、収益の改善を図る





### 3. 中期経営計画(2027)の進捗

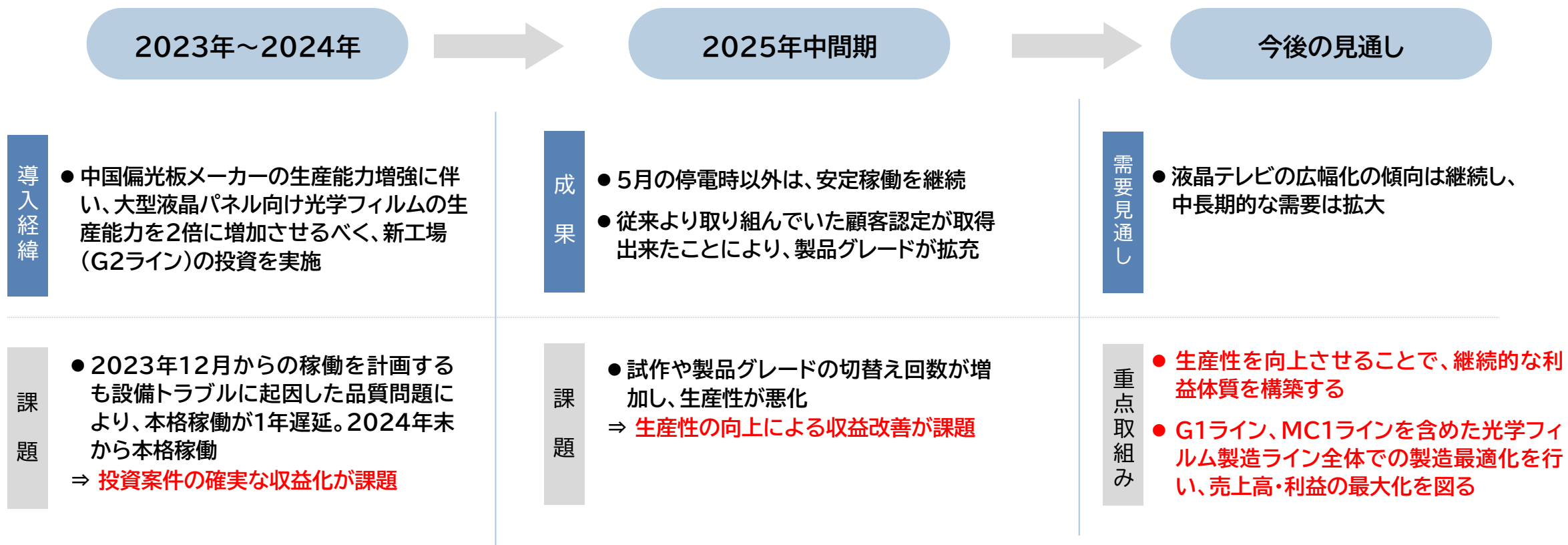
# 中期経営計画(2027)の位置づけ



# 【事業戦略】基本方針①：成長戦略の着実な遂行

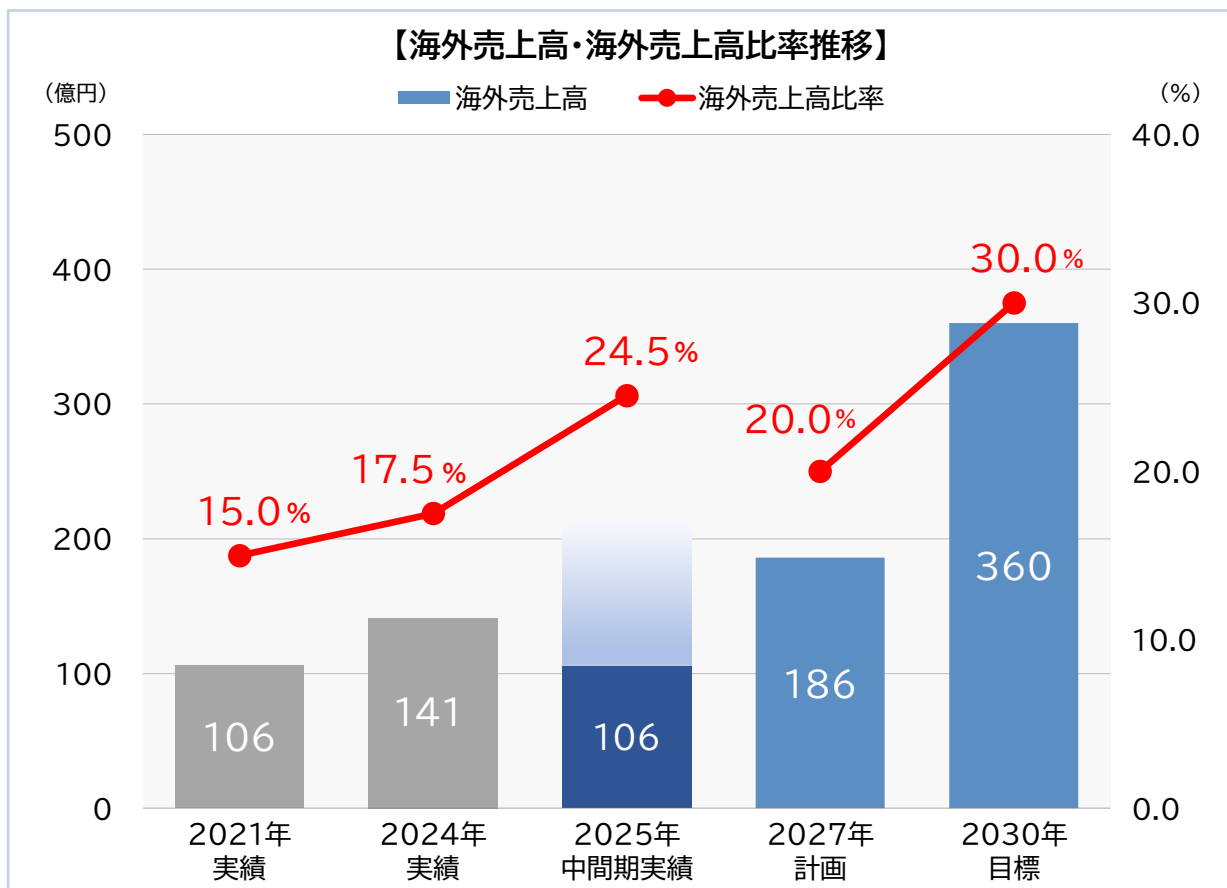
Next10(2030)実現に向けた投資案件の確実な刈り取りと、成長分野での積極的な投資

## 【新規材料事業 G2ラインの現状と今後の見通し】



## 【事業戦略】基本方針②：事業領域拡大に向けた海外事業の推進

経営資源を投入し、情報電子・プロセス機能材料を中心に海外向け売上を拡大



### 上海駐在員事務所の設立

2025年7月1日付で、新規材料事業部の上海駐在員事務所を設立

- 中国のディスプレイ市場の更なる拡大を見据え、現地での迅速な情報収集と顧客との関係深化を図る
- 情報収集にとどまらず、最新情報を発信する拠点としての役割を果たし、更なる価値の創出を目指す

### オークラベトナムでの事業開始に向けて

当初の計画から1年遅れの2026年に稼働開始予定

- 現在は、現地での接着剤事業の営業ライセンス取得に向けた活動を実施するとともに、ベトナム拠点のプレゼンス向上に向けたマーケティング活動に注力
- 合成樹脂事業部の海外事業推進部を中心に、労働集約型事業の日本からの事業移管を検討

## 【事業戦略】基本方針③：研究開発機能の強化による新製品の創出

新製品テーマ創出・開発・上市のサイクルを加速させ、当社事業をリードする

R&Dセンターを中心に4つの成長領域（情報電子、環境・エネルギー、ライフ&ヘルスケア、モビリティ）を通じて材料と技術を提供し、人々の生活をより良くすることを目指す

情報電子	環境・エネルギー	ライフ&ヘルスケア	モビリティ
			
LCPフィルム	ペロブスカイト太陽電池	シングルユースバッグ	自動車用天井材
光学フィルム (塗工/保護/他)	各種複合部材	手術支援ロボットドレープ	塗装代替フィルム
タッチセンサーフィルム	モノマテリアル	植物抽出 食品包装用フィルム	EV向け接着剤

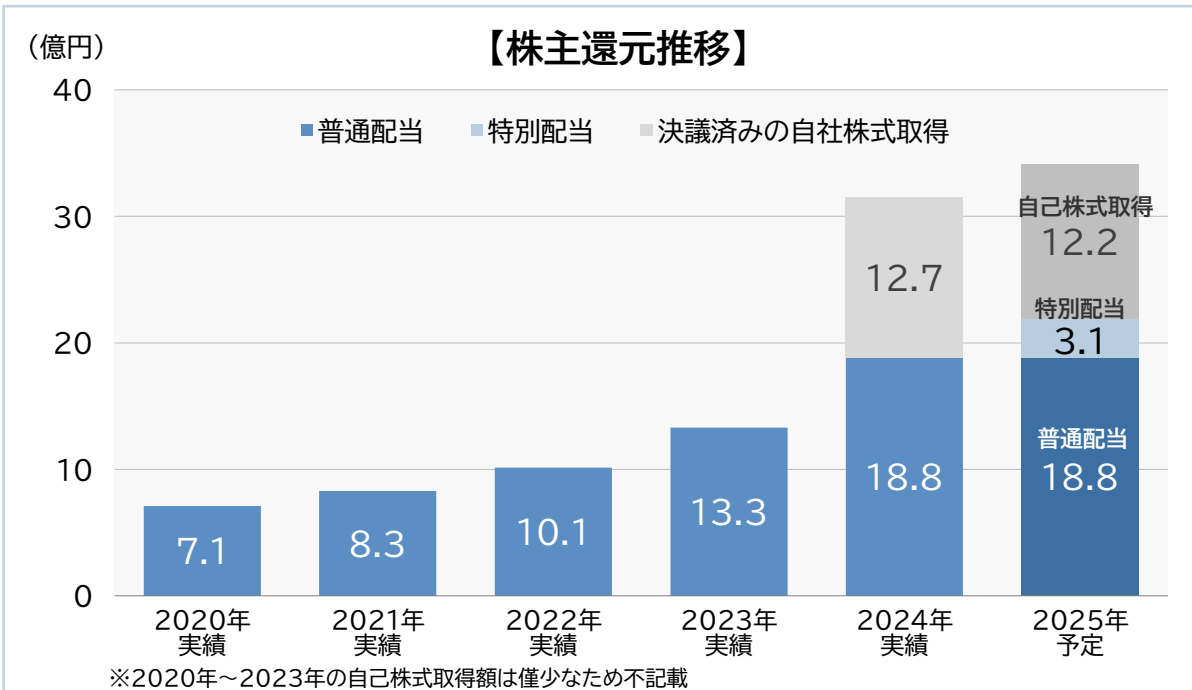
## 【財務戦略】株主還元の拡充

### 配当方針

- ① 株主還元を経営上の最重要課題の一つとして位置づけ、継続的かつ安定的な配当を目指す
- ② 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の一環として、利益還元強化の姿勢をより明確に示すために、従来の配当性向指標に加えて、DOE(連結自己資本配当率)指標を導入

### 配当目標指標

安定した利益配分	<b>DOE:3.5%</b> 水準 (普通配当:3.0%、特別配当:0.5%)
業績変動利益配分	<b>配当性向:30%</b> 以上



2025年における株主還元総額:**34.2億円**(予定)  
⇒配当性向50.1%、総還元性向77.8%

- 1株当たり配当金:前年比35円増の**年間195円**を予定 (中間配当:95円/期末配当:100円)  
⇒普通配当:170円/特別配当:25円
- 自己株式取得プログラム(2024年8月～2025年6月)により、2025年1月～6月に総額12.2億円の自己株式を取得済み



# 【非財務戦略】 四国森林資源の利用促進／統合報告書の公開

## 四国森林資源の利用促進



- 2025年3月:集成材工場棟竣工
- 2025年4月:工場操業業務を受託する子会社  
(株)オークラBMワークスを設立

⇒2026年春の事業開始に向けて予定通り進行中

➤ 四国森林資源の利用促進により、事業とSDGsの融合、地域の活性化を目指す

## 統合報告書の公開



- 当社グループの価値創造への取組みを示す情報発信ツールとしてこれまでの「サステナビリティレポート」を改め、「統合報告書」として、2025年6月に公開
- 経営戦略やESG活動を包括的に記載し、持続可能な社会の実現への貢献と企業価値の向上について、具体的かつ透明性の高い形で伝えることを目指す



統合報告書2025  
[https://www.okr-ind.co.jp/wp/wp-content/uploads/OKURA\\_Integrated\\_Report\\_2025\\_Japanese.pdf](https://www.okr-ind.co.jp/wp/wp-content/uploads/OKURA_Integrated_Report_2025_Japanese.pdf)



バックナンバー一覧  
 統合報告書/サステナビリティレポート  
<https://www.okr-ind.co.jp/sustainability/okura-report/>

## 免責事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

本資料は、情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の売買を勧誘することを目的としたものではありません。



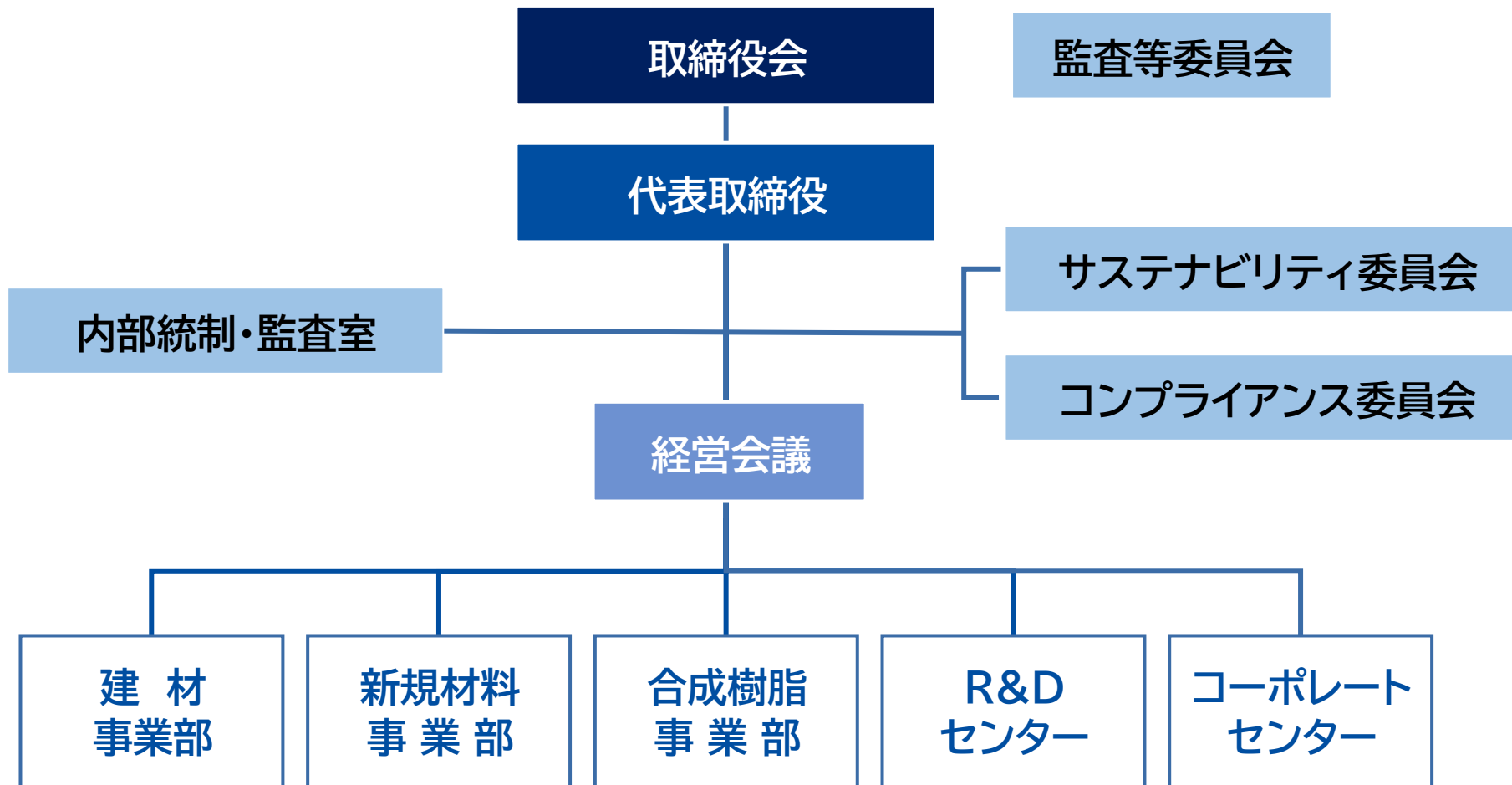
## 4. 参考資料

## 会社概要

証券コード	4221   東証プライム市場 業種   化学																								
社名	大倉工業株式会社   Okura Industrial Co.,Ltd.																								
本社所在地	香川県丸亀市中津町1515番地																								
設立	1947年7月11日																								
従業員数	連結 1,891名   単体 1,039名 (2024年12月末)																								
事業内容	<p>合成樹脂事業: 各種ポリエチレン製品及びポリプロピレン製品の製造販売</p> <p>新規材料事業: 光学機能性フィルム等の製造販売</p> <p>建材事業: パーティクルボード、加工ボード及び加工合板等の製造販売</p>																								
グループ会社	<p>連結子会社・非連結子会社(国内13社、海外2社)</p> <hr/> <table border="0"> <tr> <td>(株)KSオークラ</td> <td>(株)九州オークラ</td> <td>(株)埼玉オークラ</td> <td>(株)カントウ</td> </tr> <tr> <td>(株)オークラプロダクツ</td> <td>(株)オークラパック香川</td> <td>(株)ユニオン・グラビア</td> <td>(株)オークラプレカットシステム</td> </tr> <tr> <td>(株)オークラハウス</td> <td>オークラホテル(株)</td> <td>オークラ情報システム(株)</td> <td>大倉産業(株)</td> </tr> <tr> <td>無錫大倉包装材料有限公司</td> <td>OKURA VIETNAM CO., LTD.(オークラベトナム)</td> <td></td> <td>(株)オークラBMワークス</td> </tr> </table> <hr/> <p>関連会社(国内4社、海外1社)</p> <hr/> <table border="0"> <tr> <td>大宝(株)</td> <td>オー・エル・エス(有)</td> <td>大友化成(株)</td> <td>中讃ケーブルビジョン(株)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">尤妮佳包装材料(天津)有限公司</td> </tr> </table>	(株)KSオークラ	(株)九州オークラ	(株)埼玉オークラ	(株)カントウ	(株)オークラプロダクツ	(株)オークラパック香川	(株)ユニオン・グラビア	(株)オークラプレカットシステム	(株)オークラハウス	オークラホテル(株)	オークラ情報システム(株)	大倉産業(株)	無錫大倉包装材料有限公司	OKURA VIETNAM CO., LTD.(オークラベトナム)		(株)オークラBMワークス	大宝(株)	オー・エル・エス(有)	大友化成(株)	中讃ケーブルビジョン(株)	尤妮佳包装材料(天津)有限公司			
	(株)KSオークラ	(株)九州オークラ	(株)埼玉オークラ	(株)カントウ																					
	(株)オークラプロダクツ	(株)オークラパック香川	(株)ユニオン・グラビア	(株)オークラプレカットシステム																					
	(株)オークラハウス	オークラホテル(株)	オークラ情報システム(株)	大倉産業(株)																					
無錫大倉包装材料有限公司	OKURA VIETNAM CO., LTD.(オークラベトナム)		(株)オークラBMワークス																						
大宝(株)	オー・エル・エス(有)	大友化成(株)	中讃ケーブルビジョン(株)																						
尤妮佳包装材料(天津)有限公司																									

※2025年6月末時点

# 組織図



# 事業所とグループ会社

## コーポレートセンター

香川県丸亀市中津町1515番地 〒763-8508  
TEL 0877-56-1111(代表)

## 新規材料事業部

香川県丸亀市中津町1515番地 〒763-8508  
TEL 0877-56-1130(代表)

## R&Dセンター

香川県丸亀市中津町1515番地 〒763-8508  
TEL 0877-56-1120(代表)

## 合成樹脂事業部

香川県丸亀市中津町1515番地 〒763-8508  
TEL 0877-56-1150(代表)

東京支店、名古屋支店、大阪支店、広島営業所  
四国営業所  
丸亀第四工場、丸亀第五工場、仲南工場

## 建材事業部

香川県丸亀市中津町1515番地 〒763-8508  
TEL 0877-56-1258(代表)

詫間工場

コーポレートセンター  
R&Dセンター  
合成樹脂事業部  
新規材料事業部(A・C・D棟)  
建材事業部

詫間工場

仲南工場  
新規材料事業部(北棟・G棟・H棟)

丸亀第四工場  
丸亀第五工場  
新規材料事業部(B棟)

広島営業所

大阪支店

名古屋支店

東京支店

## グループ会社

- (株) KS オークラ
- (株) 九州オークラ
- (株) 埼玉オークラ
- (株) カントウ
- (株) オークラプロダクツ
- (株) オークラパック香川
- (株) ユニオン・グラビア
- (株) オークラプレカットシステム
- (株) オークラハウス
- (株) オークラBMワークス
- オークラホテル(株)
- オークラ情報システム(株)
- 大宝(株)
- オー・エル・エス(有)
- 大友化成(株)
- 大倉産業(株)
- 中讃ケーブルビジョン(株)
- 無錫大倉包装材料有限公司
- 尤妮佳包装材料(天津)有限公司
- OKURA VIETNAM CO., LTD.

## 大倉工業の始まり

創業者 松田正二が  
長年お世話になった

松田正二が  
10年勤めた

倉敷紡績 社長

大原 総一郎氏

倉敷紡績株式会社

「将来は倉敷紡績より大きくなりたい」という希望を込めて...

1955年11月 **大倉工業株式会社** とした

## 沿革 | 戦災後の混乱期からの出発

1945	岡内製材所として製材・小型の復興住宅を販売
1946	四国住宅製材所に商号変更
1947	四国住宅株式会社を設立
1949	高松(東浜町)にて木材市売りを開始
1951	四国実業株式会社に商号変更 倉敷ビニロンを発売
1952	丸亀(城西町)にて木材市売りを開始 ※

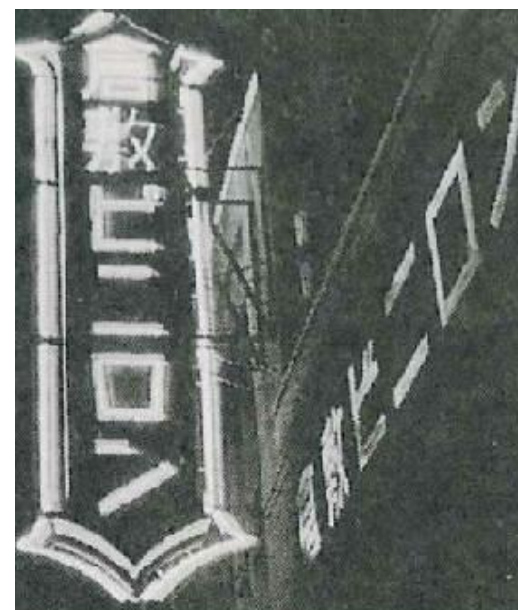
※1955年に丸亀(港町)に移転



高松製材所の風景



木材市売の四国住宅の頃



四国実業の事務所とネオンサイン

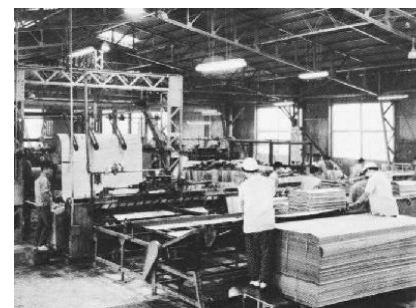


## 沿革 | 第一世代の偉大な歩み

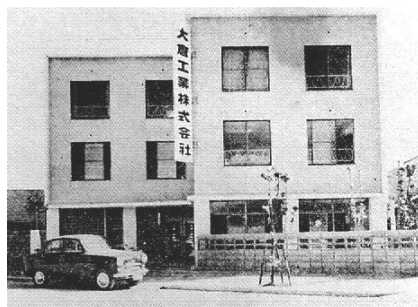
1955	【全体】大倉工業株式会社に商号変更
1956	【合成】ポリエチレンフィルム加工製造開始(港町)
1959	【合成】東京工場操業開始
1962	【全体】大阪証券取引所第2部市場に株式上場 【合成】本社工場操業開始 【建材】ラワン合板生産に進出、石膏ボード製造開始
1963	【他】「大倉産業(株)」を設立
1964	【建材】プリント合板製造開始
1966	【他】ハウス事業部を新設し、 土地造成並びに住宅建て売り事業開始
1967	【全体】東京証券取引所第2部市場に株式上場 【合成】埼玉工場操業開始



ハウス部設立当時の建売物件



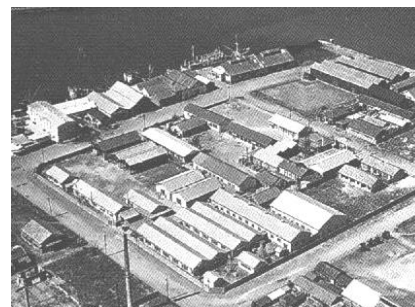
ベニア合板工場構内



高松本社ビル



高松(新材木町)本社



丸亀(港町)工場



本社工場構内

## 沿革 | 第二世代による事業の拡大

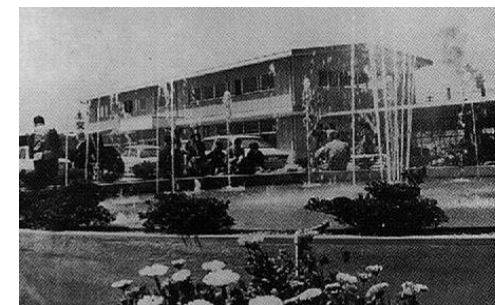
1968	【建材】詫間工場操業開始、【他】冷凍倉庫事業開始
1969	【建材】「大友化成(株)」を設立
1970	【全体】東京・大阪両証券取引所第1部市場に株式上場
1971	【建材】パーティクルボード製造開始
1972	【全体】本社を香川県丸亀市に移転
1973	【他】「オークラホテル高松」がオープン
1976	【建材】パーティクルボード二次加工開始(メラハーケン)
1977	【合成】丸亀第四工場操業開始
1984	【合成】「(株)カントウ」を設立
1987	【全体】ホテル事業部と新規材料事業部を新設
1988	【他】「オークラホテル丸亀」がオープン
1992	【他】「オークラ情報システム(株)」、 【合成】「(株)ユニオン・グラビア」を設立 【合成】丸亀第五工場操業開始 【他】「(株)岡山ビジネスホテル」運営開始
1995	【合成】「(株)オークラパック香川」、 「無錫大倉包装材料有限公司」を設立 【合成】仲南工場操業開始



オークラホテル丸亀



新規材料事業部(A棟)



丸亀(中津町)移転後の本社



## 沿革 | 新たなる半世紀を見据えた第三世代

2000	【新規】C棟竣工、「オー・エル・エス(有)」を設立
2001	【合成】福岡・熊本の2工場を統合し九州工場操業開始
2003	【他】「株オークラハウス」を設立
2004	【全体】第一次中期経営計画がスタート 【新規】D棟竣工 【合成】「株九州オークラ」を設立
2006	【合成】「株OKプロダクツ岡山」、 「株オークラプロダクツ香川」を設立
2007	【全体】コーポレートセンター及びR&Dセンターを新設 【全体】第二次中期経営計画がスタート 【合成】「株関西オークラ」、「株関東オークラ」を設立
2009	【他】「株オークラプレカットシステム」を設立
2010	【全体】第三次中期経営計画がスタート



新規材料事業部(C棟)



新規材料事業部(D棟)

VISION21 国際競争で優位に立てる大倉工業

## 沿革 | 第四世代 技術優位な企業集団を目指して

2012	【合成】「尤妮佳包装材料(天津)有限公司」を設立
2013	【全体】第四次中期経営計画がスタート
2014	【新規】G棟操業開始、オー・エル・エス新ライン増設 【合成】関西オークラ新工場(第3工場)操業開始
2016	【全体】第五次中期経営計画がスタート、監査等委員会設置会社に移行 【合成】「株オークラプロダクツ」を設立
2017	【全体】会社創立70周年
2018	【他】「オークラホテル(株)」が「株岡山ビジネスホテル」を吸収合併
2019	【全体】経営ビジョンNext10、第六次中期経営計画がスタート 【合成】「株埼玉オークラ」を設立
2022	【全体】Next10(2030)に改訂、中期経営計画(2024)がスタート 【合成】「株KSオークラ」を設立
2023	【新規】「OKURA VIETNAM CO., LTD. (オークラベトナム)」を設立
2024	【新規】H棟操業開始
2025	【全体】中期経営計画(2027)～絆を育み、輝く未来を～がスタート 【建材】「株オークラBMワークス」を設立 【新規】上海駐在員事務所を設立



新規材料事業部(G棟)



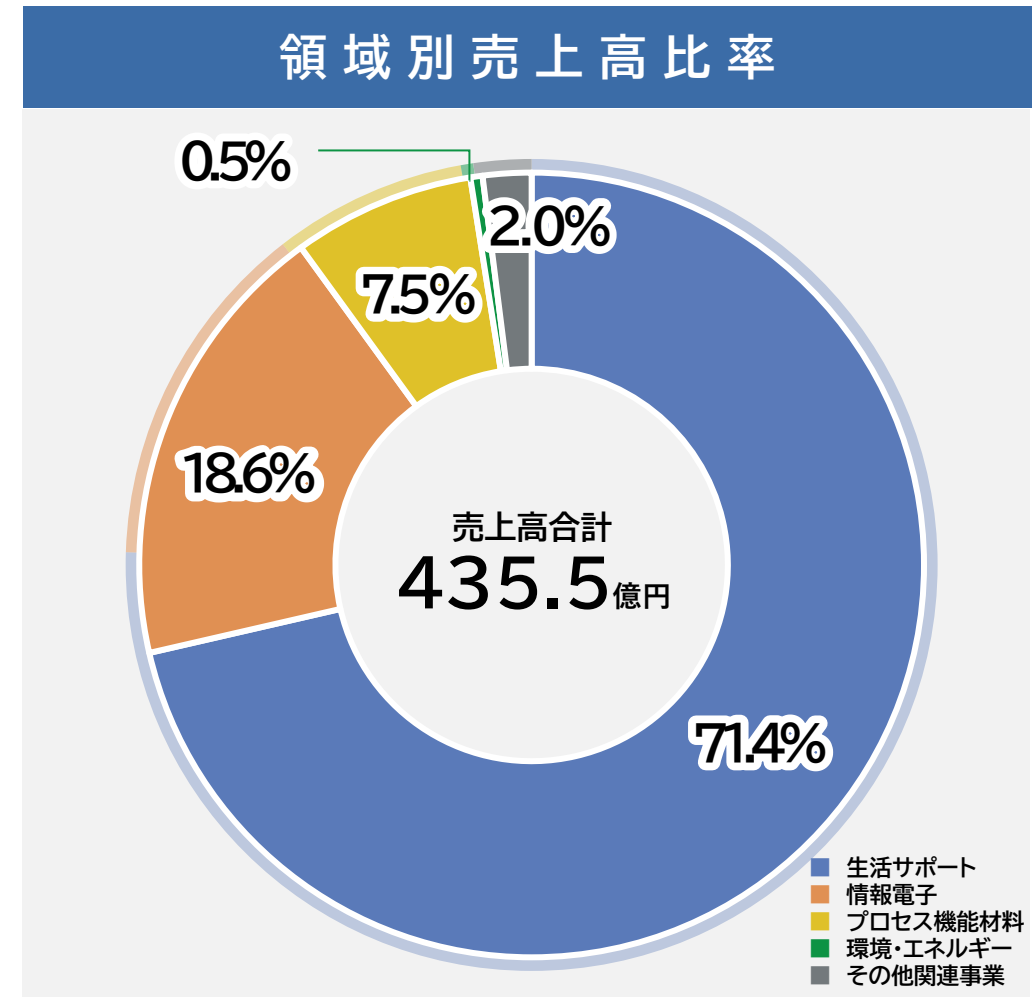
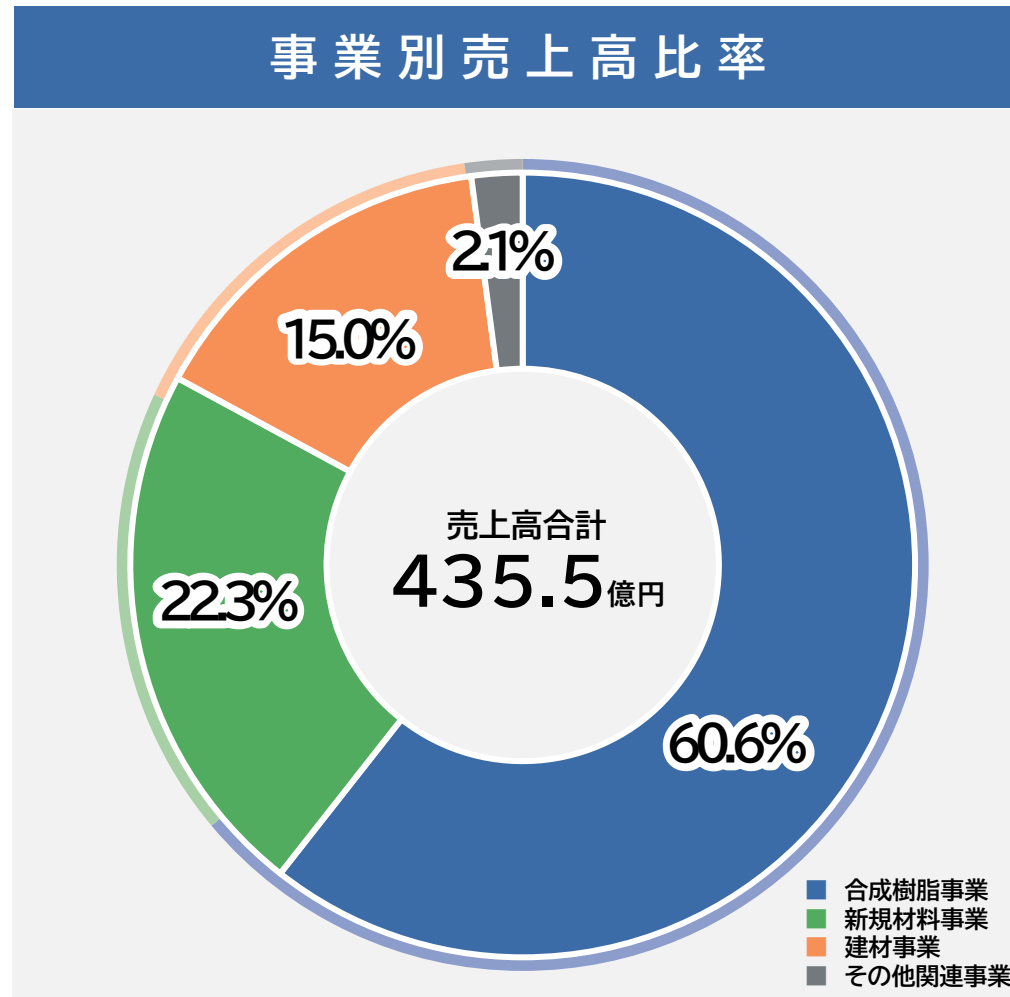
新規材料事業部(H棟)



OKURA VIETNAM CO., LTD.

要素技術を通じて、新たな価値を創造し、お客様から選ばれるソリューションパートナー

## 事業別、領域別売上高比率



## 事業紹介 | 合成樹脂事業 【売上高構成比:60.6%】

### ライフ & パッケージ BU

#### シュリンクフィルム

中間物流用の重量物包装や集積包装、食品を直接包装するものなど、オリジナルのデザインや形状を生かしたまま、商品をより美しく安全に包み込む。用途に応じた独自の機能を付与すると共に、印刷などの二次加工や包装システムなどを提案。

【用途例】乳酸菌飲料集積用、カップ麺、酒パック等の包装フィルム、食品トレイ包装用バリアフィルム



#### 軟包材

ナイロン・ポリエステル・ポリエチレンなどのさまざまなフィルムを貼り合わせることで、それぞれの特性を活かした機能的な複合フィルムのこと。冷凍食品の包装やIC基盤の保護用フィルム、詰め替え用のスパウト付きラミネート袋など、身近なところから最先端の電子材料にまで幅広く提供。

【用途例】食品、洗剤、柔軟剤、シャンプー、ペットフード、お菓子等



#### リキッドパック

液体包装容器の総称であり、段ボール箱内で使用されるバッグインボックスとドラム缶内で使用されるバッグインドラムに大別される。醤油などの食料品や化学薬品などの液体輸送の合理化に寄与。

【用途例】ミネラルウォーター、油脂加工製品、調味液(醤油、ソース等)、液体肥料、液体洗剤、接着剤



## 事業紹介 | 合成樹脂事業 【売上高構成比:60.6%】

### プロセスマテリアルBU

電子・エネルギー・住宅・メディカルなど様々な分野の主材や基材を提供。液晶パネルに使用される位相差フィルムの保護用フィルムなど、独自の樹脂ブレンドノウハウ・高い製膜技術・徹底した品質管理で最適なソリューションを提供。

【用途例】光学、電子、電気製品、自動車、ユニットバス壁面、ドア・クローゼット・床などの建装材など



### ベーシックマテリアルBU

規格袋・ごみ袋・包装/梱包荷材など、各種既製品はもとより、食品・衛生材料・家庭紙・日用雑貨・産業資材・医薬・洗剤・化粧品・印刷出版物など幅広い分野で製品の包装に使われているポリエチレンフィルムを提供。

【用途例】規格袋、日用品、食品用パッケージフィルム、衛生材料用フィルム



### アグリマテリアルBU

農業用の機能性フィルムであり、全国の農家から親しまれている製品。農作業の省力化と作物の収穫増のために、保温・地温上昇抑制・害虫忌避・抗菌・生分解といったさまざまな機能を持つ製品をラインアップ。

【用途例】農業用フィルム、肥料の保存





## 事業紹介 | 新規材料事業 【売上高構成比:22.3%】

### 機能材料BU

#### TPEチーム (ウレタンフィルム)

機械的・化学的・電氣的等著しい機能を持つウレタンやフッ素系等の単層、多層フィルムをメディカル分野や自動車部品メーカー等に提供。

【用途例】創傷用被覆保護ドレッシング、プリント接着用シート、印刷転写用シート、ヘッドレスト、ペイントプロテクションフィルム



#### BLTチーム (シームレスベルト・樹脂被覆ローラ)

プリンター等の画像情報機器に必要な電子機能を持つベルトやチューブをプリンター・複写機メーカーに提供。

【用途例】LBP用中間転写ベルト、クリーニングローラ、転写ローラ



#### ADHチーム (アクリル接着剤)

3タイプの硬化機構の無溶剤型アクリル接着剤を車輻・電気・鋼板・鋳型模型からゴルフクラブまで幅広い市場に提供

【用途例】モーターマグネット(電気自動車部品)、塗装鋼板、ゴルフクラブ、鋳型模型



## 事業紹介 | 新規材料事業【売上高構成比:22.3%】

### 電子材料BU(加工) / 光学材料BU(製膜延伸)

MNTチーム

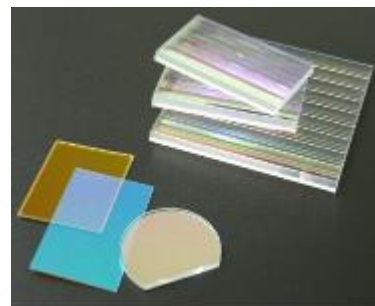
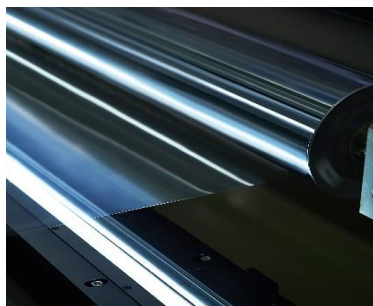
KEチーム

PLMチーム

CTチーム

MCSTRチーム

大型から中小型サイズの液晶ディスプレイを始め、タッチパネルや液晶プロジェクター等、電子表示体のキーマテリアルとなる各種光学機能性フィルムをFPDメーカー等に提供。



## 事業紹介 | 建材事業【売上高構成比:15.0%】

### 木質パネルBU

#### パーティクルボード (素板)

木質廃材を細かくしたチップに接着剤などを混ぜた原料を高温でプレスし固めたパーティクルボード。木質廃材を焼却せず製品としてリサイクルしており、二酸化炭素の排出を抑制し、地球温暖化の防止に寄与。

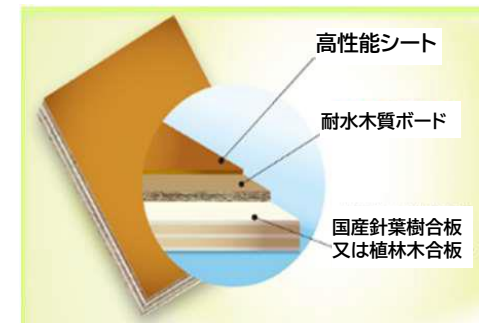
【用途例】 フローリング、壁材、天井材、ドア、棚板



#### 環境貢献型枠 (木守®)

国産針葉樹合板又は植林木合板に、平滑性に優れた耐水木質ボードを練り合わせ、表面に高性能シートをラミネートしたコンクリート型枠用合板。ラワン型枠用合板と比較しても強度、耐久性など同等の品質、性能をもっている。

【用途例】 建設・土木工事用コンクリート型枠





## 事業紹介 | 建材事業【売上高構成比:15.0%】

### 木構造BU

#### 省施工構造 断熱パネル

構造用耐力面材と断熱材などが全てセットになっている。パネル施工と同時に断熱工事が完了するため、日数の短縮、職人や大工の労力軽減に繋がる。

【用途例】 建物の壁材



#### 建築・土地造成

(株式会社オークラハウス)

香川県丸亀市に本社があり、県内の新築、リフォームを手掛ける。エネルギー収支ゼロを目指したゼロ・エネルギー住宅や国土交通省が定めた耐震性能最高等級「耐震等級3」相当で建てるなど、快適に安心して永く住んでもらう住宅を提供。

【事業例】 分譲住宅、注文住宅、リフォーム



#### 木材加工

(株式会社オークラ  
プレカットシステム)

香川県三豊市に本社があり、木造建屋宅用構造材加工(プレカット加工)及び木造建屋用資材(建築金物・基礎素材等)の仕入販売を行っている。よりよい家を作るために、数々の建築データを基に、安全に現場での作業を迅速に行えるプレカットされた木材を、日々つくり続けている。

【用途例】 建物の柱・梁・桁等



## 事業紹介 | その他関連事業【売上高構成比:2.1%】

### ホテル事業

#### オークラホテル 株式会社

香川県丸亀市に本社があり、オークラホテル丸亀を営業。  
オークラホテル丸亀は瀬戸内海を一望する最高のロケーションでビジネスや観光の拠点に便利な立地。



### 情報処理事業

#### オークラ情報 システム株式会社

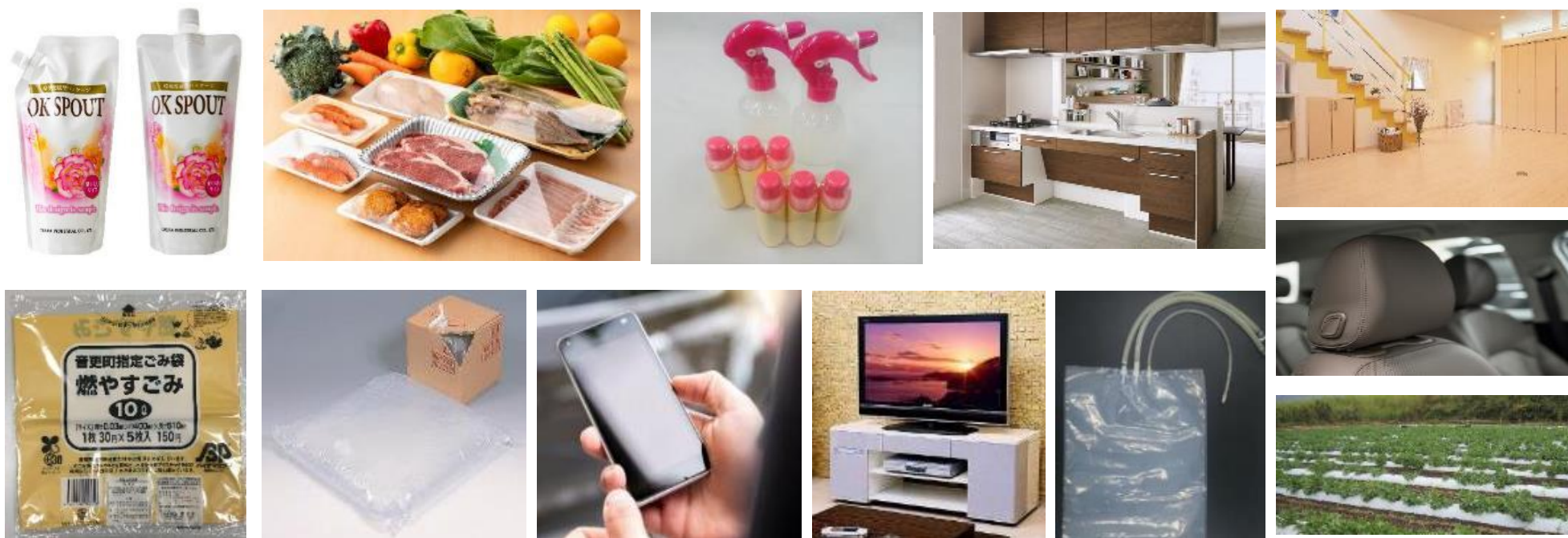
香川県丸亀市に本社があり、ソフトウェア開発やコンピュータシステムの運用、保守パッケージソフトの製造・販売、コンピュータ機器販売を手掛けている。  
ニーズを拾い上げ、形にするまでトータルでサポート。



# 当社の強み

さまざまな分野・業界  
への製品対応力

様々な業界のお客様とのお取引により  
多様化するニーズにマッチした製品を  
高い技術力を生かし供給し続けています





## 当社の強み

### 材料設計開発

ポリマーブレンドアロイ  
有機無機ハイブリッド  
重合、多層化



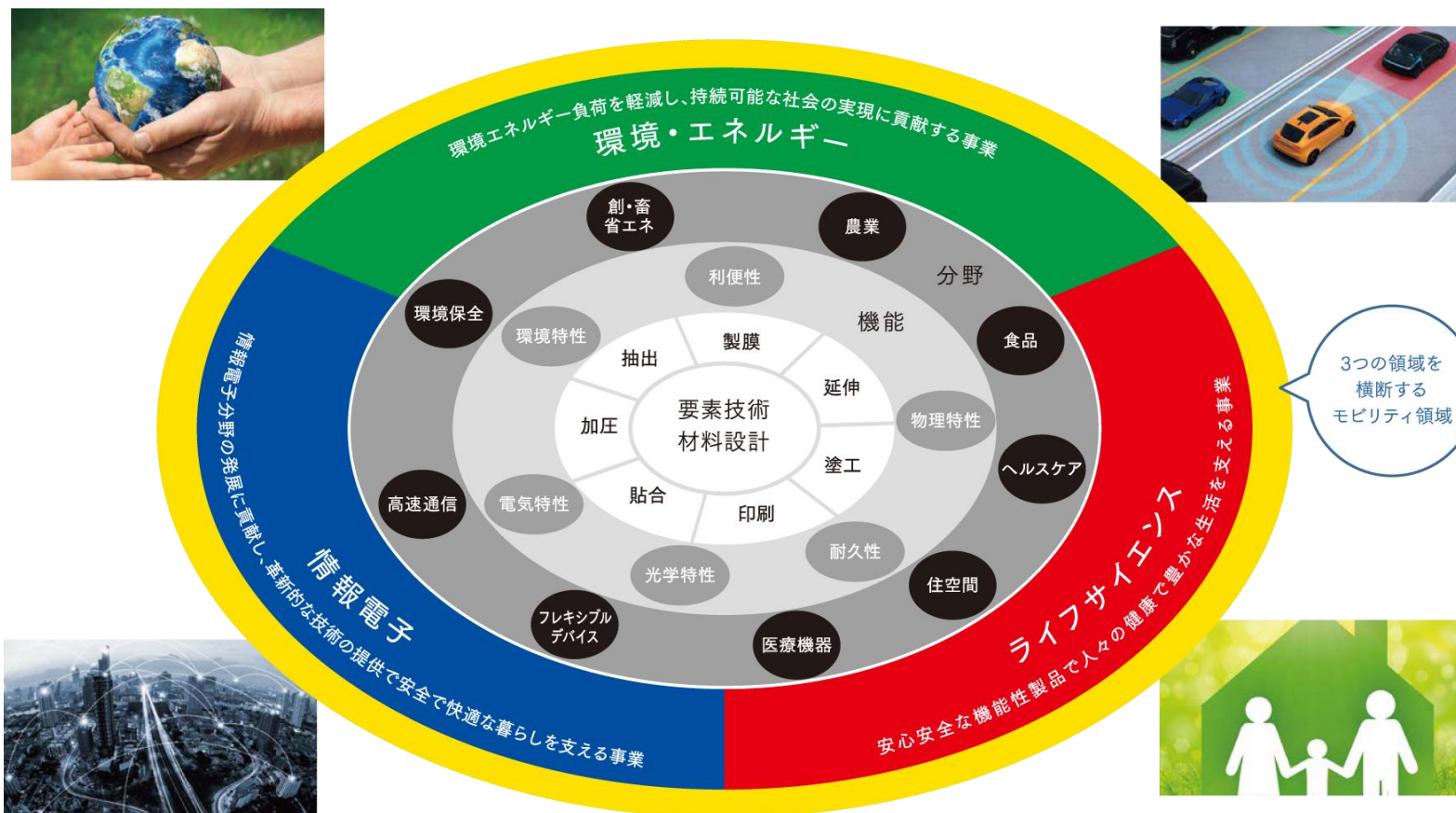
### 加工技術

製膜、延伸、塗工、印刷、  
貼合、加圧、抽出、+  $\alpha$



用途・形態・使用条件にマッチした材料と製造プロセスでお客様の要求に対応

# 開発の方向性 | 要素技術の体系図




**注力領域** 「環境・エネルギー」「ライフサイエンス」「情報電子」と、3つの領域を横断する「モビリティ領域」

**OKURA**

**2025年12月期第2四半期(中間期)  
決算説明資料**

**END**

2025年8月18日  
 **大倉工業株式会社**  
証券コード:4221